本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお 読みください。

第1章 機能

本パソコンでお使いになれる機能について説明しています。

第2章 ソフトウェア

ソフトウェアのインストールについて説明しています。

第3章 トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

目次

本書をま	5読みになる前に	5
	本書の表記	8
第1章	機能	
	1 セットアップ後	14
	セットアップ後の設定	14
	Windows 起動ディスクを作成する	14
	セットアップ用フロッピーディスクを用意する	15
	リカバリ CD-ROM 起動ディスクを準備する	16
	ドライバのバックアップ	17
	2 ディスプレイ関連	18
	解像度と色数について	18
	マルチモニタ機能	22
	3 通信	25
	内蔵 LAN について	25
	4 ドライブ関連	27
	ドライブ構成	27
	DMA の設定	28
	仮想メモリを設定する	31
	ファイルシステムについて	33
	FDISK で領域を設定する	35
	5 省電力	38
	スタンバイと休止状態	38
	省電力の設定	42
	スタンバイ/休止状態にする	43
	スタンバイまたは休止状態からのレジューム	44
	ACPI のスタンバイモードを設定する	45
	6 その他	48
	デバイス一覧	48
第2章	ソフトウェア	
	1 ソフトウェアライブラリ(Windows 98)	60
	アップデート方法	60
	2 ソフトウェア一覧	61
	各ソフトウェアの紹介	63
	アンインストール方法	79
	3 ドライバ	80
	ドライバのバックアップ	81

第3章 トラブルシューティング

1	トラブルに備えて	84
	テレビ/ラジオなどの受信障害防止について	84
	Windows のセットアップ後に行ってください	84
	データのバックアップ	85
	コンピュータウイルス対策	85
	ドキュメントの確認	86
2	トラブル発生時の基本操作	87
	本パソコンや周辺機器の電源を確認する	87
	以前の状態に戻す	87
	Safe モード/ VGA モードで起動する	88
	ハードウェアの競合を確認する	90
	バックアップを行う	91
	メッセージなどが表示されたらメモしておく	91
	診断/修正プログラムを使用する	92
3	 起動・終了時のトラブル	95
4	OS・アプリケーション関連のトラブル	98
5	ハードウェア関連のトラブル	101
	BIOS	101
	内蔵 LAN	101
	ハードディスク	104
	CD-ROM	105
	フロッピーディスク	106
	光磁気ディスク	106
	PC カード	107
	SCSI カード	108
	ディスプレイ	108
	サウンド	113
	キーボード	113
	マウス	114
	プリンタ	114
	その他	114
6	リカバリ/再インストール	115
	リカバリ/再インストールを実行する前に	115
	リカバリ/再インストール後も状態が改善されない場合は	115
7	′ それでも解決できないときは	116
	ソフトウェアのお問い合わせ一覧	116
* 31		
索引		117

Memo

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本パソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本パソコンをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、 理解されたうえで本パソコンをお使いください。

また、『安全上のご注意』およびマニュアルは、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・ 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となりま す。ご注意ください(詳しくは、保証書をご覧ください)。

使用許諾契約書

富士通株式会社(以下弊社といいます)では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア(以下本ソ 留工地株式芸性(以下幹性といいます)では、本ハノコンにインストール、もしてはあれば、シファージェア(以下半ノフトウェアといいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェ

アをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソ フトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契 約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権
 - お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入に 本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三 者に帰属するものとします。
- バックアップ
 - お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用(バックアップ)媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み 本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル 等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 4 複製
 - (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。 本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予 備用(バックアップ)媒体以外には複製は行わないでください ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠 蔽等しないでください。
- 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア(本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます)を 第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡する こととします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできま せん

- 改浩等
 - お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリング を行うことはできません。
- 保証の範囲
 - (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に 限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥(破損等)等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします
 - (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害(逸失利 益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします)に関しても、
 - 行いません。
- 8. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、 一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、 ハイセイフティ用途で の使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する 措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて 高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいい ます.

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております (http://www.microsoft.com/japan/)。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する $Microsoft^{\otimes}$ $Windows^{\otimes}$ にて最も安定したシステムを構築できます。

したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ(基本ソフト、アプリケーションソフトも含む)の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。 データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全 修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品には、有寿命部品(CRT、液晶ディスプレイ、ハードディスクなど)が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

このパソコンには、"外国為替及び外国貿易法"に基づく特定貨物が含まれています。したがって、このパソコンを輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。 (社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドラインに基づく表示)

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ただし、OS (Windows NT等)の制限上、本製品の省エネルギー機能が使用できない場合もあります。



この製品の構成部品 (プリント基板、CD-ROM ドライブ、ハードディスク、フロッピーディスクドライブなど) には、微量の重金属 (鉛、クロム) や化学物質 (アンチモン) が含有されています。

保守修理サービスのご案内

弊社では、保守修理サービスとして、以下の「契約サービス」「スポット保守サービス」を用意しております。 お客様のご希望、ご利用状況に合わせたサービスをお選びの上、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入 元にお申し込みください。

■ 契約サービス

お客様と契約に基づき、機器管理を行います。

保守サービス料金は月額の定期保守料をお客様に負担していただきます。

料金は定額ですので、お客様の予算管理も容易です。

・ 定期保守サービス

トラブルを未然に防止するとともに、機器の機能維持を行うため、定期的に予防点検、整備調整作業を行います。万一の 障害発生時には保守員がお客様に伺い、保守修理作業を実施いたします。

業務にご利用の場合などで、機器の使用頻度の高いお客様に最適なサービスです。

・定額訪問修理サービス

万一のトラブルの際に、保守員がお客様に伺い、修理作業を実施いたします。

・ 定額点検サービス

トラブルを未然に防止するための定期点検のみを実施する契約サービスです。

点検時の部品の交換、障害発生時の保守作業については別途有償とさせていただきます。

■スポット保守サービス

必要に応じてその都度利用していただく保守サービスです。

保守サービス料金は、サービス実施の都度、お客様に負担していただきます。

スポット訪問修理サービス

お客様のご依頼により、保守員が修理にお伺いします。

修理料金はその都度ご清算いただきます。なお、保証書の無料修理規定による保証期間中の修理費用は無償ですが、訪問 に必要な費用は別途有償となります。

スポット持込修理サービス

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にお持ち込みいただき、修理完了後に、お客様にお引き取りいただきます。経済的な費用で修理できます。

スポット引取修理サービス

お客様のご依頼により、弊社指定の運送業者がお客様をご訪問させていただき、機器を回収いたします。修理完了後に、お客様までご返送させていただくサービスです。

なお、保証書の無料修理規定による保証期間中の修理費用は無償ですが、往復の運送に必要な費用は別途有償となります。

スポット点検サービス

お客様のご依頼により、保守員がお客様を訪問させていただき、機器を整備・点検します。 機器の長期間の使用や移設作業後に点検を行いたい場合などにご利用いただけます。なお、点検時に部品交換などが必要 と判断された場合は別途有償とさせていただきます。

※アフターサービスなどについて、ご質問などがございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元へお問い合わせください。

■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

▲警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または 重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

\triangle	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
\Diamond	○で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
0	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
炒重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお 読みください。
POINT	操作に関することを記載しています。必要に応じてお読みください。
\rightarrow	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例:【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例: 【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ コマンド入力(キー入力)

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:

● ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【space】キーを1回押してください。

また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力しても かまいません。

● CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ] で表記しています。入力の際は、 お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

「CD-ROM ドライブ]:\#setup.exe

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例: 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をク リックする操作

 \downarrow

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「一」(ハイフン) でつなげて記述する場合があります。

例: 「メイン」の「ECC モード」の項目を「使用しない」に設定します。 \downarrow 「メイン」 - 「ECC モード」: 使用しない

■ フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、『システム構成図』をご覧ください。

周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■ お問い合わせ先/ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2002 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください (→『取扱説明書』)。

■ カスタムメイドオプション

本文中の説明は、標準仕様に基づいて記載されている場合があります。 そのため、お使いのパソコンがカスタムメイドオプションを取り付けている場合、本文中の説明と一部記載が異なる場合があります。

■ 製品の呼び方

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。 なお、本書ではお使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記		
Microsoft [®] Windows [®] XP Professional	Windows XP Professional Windows X		
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Willdows AF	*
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	Windows **	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	0 Windows NT		
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me		
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION Windows 98			
Microsoft® MS-DOS® operating system	operating system MS-DOS		
Norton AntiVirus TM 2002	AntiVirus		
VERITAS RecordNow DX 4.0	RecordNow		
Adobe® Acrobat® Reader 5.0	Acrobat Reader		

※: Windows XP/2000/NT/Me/98 のように併記する場合があります。

■ 機種名表記

本文中の機種名を、次のように略して表記します。 なお、本書ではお使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

機種名	本文中の表記		
FMV-7000TX2	(TX)		
FMV-7000FL2	(FL)		
FMV-6000SL2	(SL)		
FMV-7000CL2	(OL)	本パソコン パソコン本体	
FMV-6000CL2	(CL)	, , , , , , ,	
FMV-6000CL2s	[CLs]		
FMV-6000CX2	(CX)		

モデル	本文中の表記
IDE-RAID 搭載	IDE-RAID モデル

■ 警告ラベル/注意ラベル

本パソコンには警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel、Pentium、Celeron は、米国インテル社の登録商標です。
ATI、RADEON は ATI Technologies, Inc. の登録商標です。
GeForce 3 は、NVIDIA Corporation の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright[©] FUJITSU LIMITED 2002 画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。 Memo

第1章

機能

本パソコンでお使いになれる機能について説明 しています。

	セットアップ後	
2	ディスプレイ関連	18
3	通信	25
	ドライブ関連	
5	省電力	38
6	その他	48

1 セットアップ後

セットアップ終了後に必要な設定について説明しています。

セットアップ後の設定

Windows のセットアップ終了後、次の設定を行ってください。

■ CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合

●「リカバリ CD-ROM 起動ディスクを準備する」 $(\rightarrow P.16)$

■ Windows NT/98 の場合

●「セットアップ用フロッピーディスクを用意する」(→ P.15)

■ Windows NT の場合

● 「ドライバのバックアップ」 $(\rightarrow P.17)$

■ Windows Me/98 の場合

●「Windows 起動ディスクを作成する」 $(\rightarrow P.14)$

Windows 起動ディスクを作成する

■ 対象機種/ OS

全機種/Windows Me/98

■ 起動ディスクの作成

「Windows 起動ディスク」とは、Windows が正しく起動できなくなった場合に、コンピュータを起動するために使うディスクです。不測の事態に備えて、なるべく早く「Windows 起動ディスク」を作成してください。

「Windows 起動ディスク」の作成には、2HDのフロッピーディスクが必要になります。Windows Me は 1 枚、Windows 98 は 2 枚のフロッピーディスクをあらかじめ用意してから、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」をクリックし、表示されるメッセージに従って作成してください。

セットアップ用フロッピーディスクを用意する

■ 対象機種/ OS

全機種/Windows NT/98

■ 概要

「セットアップ起動ディスク」または「Windows NT Workstation Setup Disk $1 \sim 3$ 」には、再インストール(\rightarrow 『取扱説明書』)に必要なファイルが含まれています。このディスクは、再インストール時だけでなく、本パソコンが起動しなくなったときの起動ディスクとしても、使用できます。必ず用意してください。

次のものを用意してください。

- Windows NT Workstation Setup Disk 1 ~ 3 (Windows NT の場合)
- セットアップ起動ディスクのラベル (購入してください)
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク (購入してください)
 - ・Windows NT の場合:3枚
 - ・Windows 98 の場合: 1 枚

■ Windows NT の場合

「Windows NT Workstation Setup Disk $1 \sim 3$ 」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー(複製)を使用してください。

- **1** Windows を起動します。
- 2 添付されている「Windows NT Workstation Setup Disk 1」をセットします。
- **3** 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。 「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- **4** 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。

「ディスクのコピー」ウィンドウが表示されます。

5 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。

メッセージに従ってコピーを作成してください。

- **6** コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。
- **7** コピーしたフロッピーディスクにラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。

ラベルには「Windows NT セットアップ起動ディスク 作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

■ Windows 98 の場合

添付の『取扱説明書』をご覧ください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクを準備する

■ 対象機種/ OS

カスタムメイドオプションで CD-ROM ドライブなしモデルを選択している場合 / Windows XP/2000/Me

■ リカバリ CD-ROM 起動ディスクの作成

CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合、リカバリには「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が必要になるため、必ず作成してください。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成には「リカバリ CD-ROM」が必要です。ATAPI の CD-ROM ドライブを内蔵し、CD ブートできる機種を使用して、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を作成してください。

次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚 (購入してください)
- フロッピーディスクのラベル1枚(購入してください)
 - **1** 「リカバリ CD-ROM 1」または「リカバリ CD-ROM」をセットします。

POINT

- ▶ 「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。
- **2** 本パソコンを再起動します。
- **3**「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。 【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してく ださい。

メニューが表示されます。

- **4** CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。 「リカバリ CD-ROM」が画面が表示されます。
- **5** 【N】キーを押します。 コマンドプロンプトが表示されます。
- **6** 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

z:¥fjuty¥mkfd.bat

「リカバリ起動ディスクを作成します」と表示されます。

7 作成するフロッピーディスクが書き込み可能な状態であることを確認し、フロッピーディスクドライブにセットして、【Enter】キーを押します。

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成が始まります。 しばらくすると「リカバリ起動ディスクの作成が終了しました」と表示されます。 **8** 作成した起動ディスクに、ラベルを貼ります。

ラベルには「リカバリ CD-ROM 起動ディスク 作業用」と記入し、お使いのパソコンの 機種名を記入しておくことをお勧めします。

■ リカバリ CD-ROM 起動ディスクの設定

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライブを認識させるのに必要なデバイスドライバのファイルをコピーします。

コピーするファイルについては、お使いになる CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

POINT

- ▶ MS-DOS に対応したデバイスドライバが必要となります。
- **2** Config.sys、Autoexec.bat を修正し、上書き保存します。 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の「\\(\fomalexcorr Config.sys\)」、「\(\fomalexcorr Autoexec.bat\)」を上記マニュアルなどを参照して修正してください。

POINT

▶ デバイスドライバを組み込む際に、CD-ROMのデバイス名として「OEMCD0001」を指定すると、「Autoexec.bat」の修正をする必要ありません。

作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、書き込み禁止の状態にしてお使いください。

ドライバのバックアップ

Windows NT モデルでは、いくつかのドライバをドライバーズ CD からフロッピーディスクに バックアップする必要があります。作成したフロッピーディスクは再インストール時に必要と なります.

作成方法は、「ドライバのバックアップ」(→ P.81)をご覧ください。

2 ディスプレイ関連

ディスプレイの設定について説明しています。

解像度と色数について

本パソコンでは、Windows の「画面のプロパティ」ウィンドウの「設定」または「ディスプレイの設定」タブで次の解像度、色数を選択/変更できます。

なお、Windows XP の色数は中が 65,536 色、高および最高が 16,777,216 色 ([CX] は 16,194,277 色) です。

Windows 2000/Me/98 の色数は High Color が 65,536 色、True Color が 16,777,216 色(〔CX〕は 16,194,277 色)です。

■ Windows XP の場合

解像度 (ピクセル)	色数	(TX) (FL) ^{※1}	FMV- 7000CL2	(SL), FMV- 6000CL2	(CLs)	(CX)		
	中(16 ビット)	0	\circ		0	0	\cap	
800×600	高(24 ビット)	×	O	O	×	O		
	最高(32 ビット)	0	×	×	0	×		
	中(16 ビット)	0			0	0	0	0
1024×768	高 (24 ビット)	×	O		×	0		
	最高(32 ビット)	0	×	×	0	×		
	中(16 ビット)	0		○ ※ 2	0	×		
1280×1024	高 (24 ビット)	×	O	0	×			
	最高(32 ビット)	0	×	×	^			
	中(16 ビット)	0						
$1600 \times 1200 \% 3$	高(24 ビット)	×	×	×	×	×		
	最高(32 ビット)	0						

※1: [FL] では、カスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択した場合にデジタルディスプレイ(DVI出力)を接続できます。デジタルディスプレイを接続した場合、設定できる解像度は800 × 600、および1024 × 768 です。

※2: デジタルディスプレイ(DVI出力)では、表示できません。

※3:[FL]では、カスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択した場合に設定できます。

POINT

- ▶ 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を高くすると、設定できる 色数は少なくなります。
- ▶ 解像度/色数を変更する場合は、必ず他のアプリケーションや常駐しているソフトウェアをすべて終了してから行ってください。また、変更後は必ず Windows を再起動してください。再起動しない場合、本パソコンの動作が不安定になる場合があります。

- ▶ 色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください([CX] 除く)。
- ▶ ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイの取扱説明書をご覧ください((CX) 除く)。

■ Windows 2000 の場合

解像度 (ピクセル)	色数	(TX) (FL) **1	FMV- 7000CL2	(SL), FMV- 6000CL2	(CLs)	(CX)
(40.) / 400	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	0	0	0
640×480	True Color(24 ビット)	×			×	
	True Color(32 ビット)	0	×	×	0	×
200 × 600	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	0	0	0
800×600	True Color(24 ビット)	×			×	
	True Color(32 ビット)	0	×	×	0	×
	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	0	0	0
1024×768	True Color(24 ビット)	×			×	
	True Color(32 ビット)	0	×	×	0	×
1200 × 1024	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	○*2	0	
1280×1024	True Color(24 ビット)	×			×	×
	True Color(32 ビット)	0	×	×	^	
1600 × 1200 ³ 3	256 色 High Color(16 ビット)	0				
1600 × 1200 × 3	True Color(24 ビット)	×	0	×	×	×
	True Color (32 ビット)	0				

※1:[FL]では、カスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択した場合にデジタルディスプレイ(DVI出力)を接続できます。デジタルディスプレイを接続した場合、設定できる解像度は640×480、800×600、および1024×768です。

※2: デジタルディスプレイ(DVI出力)では、表示できません。

※3:[FL]では、カスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択した場合に設定できます。

POINT

- ▶ 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を高くすると、設定できる 色数は少なくなります。
- ▶ 解像度/色数を変更する場合は、必ず他のアプリケーションや常駐しているソフトウェアをすべて終了してから行ってください。また、変更後は必ず Windows を再起動してください。再起動しない場合、本パソコンの動作が不安定になる場合があります。
- ▶ 色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください([CX] 除く)。
- ▶ ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイの取扱説明書をご覧ください((CX))除く)。

■ Windows NT の場合

解像度 (ピクセル)	色数	(TX)	(SL), FMV-6000CL2	(CLs)	(CX)
	256 色 65,536 色	0	0	0	0
640×480	16,777,216 色	×		×	
	True Color	0	×	0	×
000 \ (000	256 色 65,536 色	0	0	0	0
800×600	16,777,216 色	×		×	
	True Color	0	×	0	×
1024 > 760	256 色 65,536 色	0	0	0	0
1024×768	16,777,216 色	×		×	
	True Color	0	×	0	×
1200 × 1024	256 色 65,536 色	0	O *	0	
1280×1024	16,777,216 色	×		×	×
	True Color	0	×	^	
1(00 × 1200	256 色 65,536 色	0			
1600 × 1200	16,777,216 色	×	×	×	×
	True Color	0			

※:ご使用のディスプレイによっては、デジタルディスプレイ(DVI出力)では表示できない場合があります。

POINT_

- ▶ ディスプレイの設定を変更する場合は、必ずテストを実行してから変更してください。
- ▶ テストビットマップの表示中は、マウスクリックおよびキーボード入力を行わないでください。画面の一部が正常に表示できなくなる場合があります。

もし、上記現象が発生した場合は、Windows を再起動してください。

- ▶ テストせずにディスプレイの解像度や色数を変更して画面が表示されなくなった場合は、Windows を VGA モードで起動し、再度ディスプレイの解像度や色数を変更してください。
- ▶ 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を大きくすると、設定できる色数は少なくなります。
- ▶ 解像度/色数の設定によっては、ディスプレイの調整が必要な場合があります([CX]除く)。
- ▶ 画面の設定は、すべてのアプリケーションを終了してから行ってください。
- ▶ ご使用のディスプレイによっては、表示位置が左右にずれる場合があります。この場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください((CX) 除く)。
- ▶ ご使用のディスプレイによっては、表示できない解像度があります。

■ Windows Me/98 の場合

解像度 (ピクセル)	色数	(TX) ^{※1} (FL) ^{※1※2}	(SL), FMV-6000CL2	(CLs)	(CX) * 1	
640 × 480	16 色	×		×		
	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	0	0	
	True Color(24 ビット)	×		×		
	True Color (32 ビット)	0	×	0	×	
800 × 600	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	0	0	
	True Color (24 ビット)	×		×		
	True Color (32 ビット)	0	×	0	×	
1001 1 7 7 60	256 色 High Color(16 ビット)	0	0	0	0	
1024×768	True Color(24 ビット)	×		×		
	True Color (32 ビット)	0	×	0	×	
1280 × 1024	256 色 High Color(16 ビット)	0	○※3	0	×	
	True Color(24 ビット)	×		×		
	True Color (32 ビット)	0	×	^		
1600 × 1200 ^{**} ⁴	256 色 High Color(16 ビット)	0				
	True Color (24 ビット)	×	×	×	×	
	True Color (32 ビット)	0				

※ 1: Windows 98 モデルのみです。

※2:[FL]では、カスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択した場合にデジタルディスプレイ(DVI出力)を接続できます。デジタルディスプレイを接続した場合、設定できる解像度は640×480、800×600、および1024×768です。

※3: デジタルディスプレイ(DVI出力)では、表示できません。

※4:[FL]では、カスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択した場合に設定できます。

POINT

- ▶ 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を高くすると、設定できる 色数は少なくなります。
- ▶ 解像度/色数を変更する場合は、必ず他のアプリケーションや常駐しているソフトウェア をすべて終了してから行ってください。また、変更後は必ず Windows を再起動してくだ さい。再起動しない場合、本パソコンの動作が不安定になる場合があります。
- ▶ 色数やリフレッシュレートを変更すると、画面がディスプレイ中央に表示されない場合があります。この場合は、ディスプレイの仕様を確認して適切なリフレッシュレートを設定するか、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください([CX] 除く)。
- ▶ ディスプレイによって、設定できる解像度が異なります。詳細はディスプレイの取扱説明書をご覧ください((CX))除く)。
- ▶ 「設定」タブの「詳細」をクリックし、「フォントサイズ」でフォントサイズを変更すると、 正常に表示されない場合があります。

マルチモニタ機能

Windows には、1 台のパソコンに複数のディスプレイカードとディスプレイを接続して、複数台のディスプレイで1 つのデスクトップを表示できる「マルチモニタ機能」があります。ここでは、例として、2 台のディスプレイでマルチモニタ機能を使う方法を説明します。Windows NT ではマルチモニタ機能はお使いになれません。

■ 対応機種/ OS

[TX] [FL] [SL] [CL] [CLs] / Windows XP/2000/Me/98

■ 留意事項

- ディスプレイカードを選ぶときは次の点にご注意ください。
 - ・本パソコンには AGP の空きスロットがないため、AGP 規格のディスプレイカードは使用できません。
 - ・お使いになっている Windows に対応しているディスプレイカードであっても、添付されているディスプレイドライバがマルチモニタ機能に対応していない場合があります。 マルチモニタ機能に対応しているかどうかを製造元のメーカーにお問い合わせください。
- 自己診断 (POST) 時、セーフモード時、VGA モード時などのマルチモニタ機能が有効ではない状態では、プライマリアダプタに接続したディスプレイに画面が表示されます。
- [TX] では、複数のディスプレイカードを増設した場合、PCI スロットの番号が小さい順に アダプタが割り当てられます。[FL] [SL] [CL] [CLs] では、大きい順に割り当てられます。
- マルチモニタ機能を使用する前にBIOSセットアップで次の項目になっていることを確認してください。
 - [TX] ··· [Main] [Boot Options] [Primary Display] : AGP VGA
 - ・〔FL〕…「詳細」 「ディスプレイ設定」 「プライマリディスプレイ」: AGP
 - ・[SL] [CL] …「詳細」-「ディスプレイ設定」-「プライマリディスプレイ」: Onboard
 - ・[CLs] …「詳細」 「内蔵デバイス設定」 「プライマリディスプレイ」: Onboard

■ 用意するもの

- マルチモニタ機能に対応している PCI 規格のディスプレイカード
- マルチモニタ機能対応のディスプレイドライバ (Windows にあらかじめ登録されていない ディスプレイカードの場合)
- ディスプレイ

■ ディスプレイカードとディスプレイを接続する

ディスプレイカードを取り付けてディスプレイを接続し、ディスプレイドライバをインストールします。

□ Windows XP/2000 の場合

- 1 ディスプレイカードを本パソコンに取り付けます(→「増設」)。
- **2** 取り付けたディスプレイカードに、ディスプレイを接続します。 接続方法については、ディスプレイとディスプレイカードのマニュアルをご覧ください。

- **3** ディスプレイの電源ケーブルを接続します。 接続方法については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 4 本パソコンの電源を入れます。
- **5** 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。

ディスプレイカードが自動的に検出され、ディスプレイドライバがインストールされます。Windows にあらかじめ登録されていないディスプレイカードの場合は、メッセージに従ってディスプレイカードに添付されているディスプレイドライバをインストールします。

- Windows XP では、「スタート」ボタンをクリックします。
- 7 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- **8** 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。 「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 9 「ディスプレイアダプタ」をダブルクリックし、取り付けたディスプレイカードが表示されていることを確認します。
- **10** すべてのウィンドウを閉じます。 続けて「マルチモニタ機能を設定する」(→ P.24) を行ってください。

□ Windows Me/98 の場合

- ずィスプレイカードを本パソコンに取り付けます(→「増設」)。
- **2** 取り付けたディスプレイカードに、ディスプレイを接続します。 接続方法については、ディスプレイとディスプレイカードのマニュアルをご覧ください。
- **3** ディスプレイの電源ケーブルを接続します。 接続方法については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- **4** ディスプレイドライバをインストールします。 ディスプレイカードのマニュアルを参照して、ディスプレイドライバをインストールしてください。ドライバをインストールした後、本パソコンを再起動してください。 再起動後、続けて「マルチモニタ機能を設定する」(→ P.24)を行ってください。

■ マルチモニタ機能を設定する

□ Windows XP/2000 の場合

- **1** デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- **2** 「設定」タブをクリックします。
- **3** 「2」のディスプレイをクリックします。
- ¶
 「Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」をチェックします。
- **5** 接続したディスプレイの解像度と色数を設定します。
- **6** 「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。 ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「OK」をクリックしてください。

□ Windows Me/98 の場合

POINT

▶ 増設したディスプレイカードによっては、本パソコンにあらかじめ接続されているディスプレイの画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、ディスプレイドライバを再インストールしてください (→ P.80)。

ディスプレイドライバをインストールし、本パソコンを再起動した後、次の操作を行ってください。

- **1** デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- **2** 「設定」タブをクリックします。
- **3** 「2」と書かれたディスプレイイラストをクリックします。 「このモニタを使用可能にしますか?」と表示されます。
- **4** 「はい」をクリックします。
- **5** 「画面のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。
- **6** 接続したディスプレイの解像度と色数を設定します。 「互換性の警告」ウィンドウが表示された場合は、「新しい色の設定でコンピュータを再起動する」を選択し、「OK」をクリックしてください。

3 通信

LAN など、通信関連について説明しています。

内蔵 LAN について

Windows セットアップ後に、お使いのネットワーク環境に合わせて、設定を行ってください。

■ セキュリティ LAN を使用する場合

□対象機種/OS

カスタムメイドオプションでセキュリティ LAN を搭載している機種/Windows XP/2000/NT

□ セキュリティ LAN 使用時の留意事項

セキュリティLAN を使用して、セキュリティ通信を行う場合には、ネットワークの設定を行った後、IP セキュリティポリシーを割り当てる必要があります。

Windows XP/2000 は、Windows のヘルプをご覧ください。

Windows NT は、「FMV-1803S セキュリティ対応 LAN Driver CD-ROM」の「Readme.txt」をご覧ください。

■ Windows NT の設定

□対象機種/ OS

LAN 搭載モデル/ Windows NT

□概要

LAN ケーブルを接続し、お使いの環境に合わせて設定を行ってください。また、「ドライバーズ CD」内の README.TXT もあわせてご覧ください。

- (TX) (SL), FMV-6000CL2, (CX): \(\text{YLan}\)\(\text{I8255x}\)\(\text{YNT}\)\(\text{disk1}\)\(\text{readme.txt}\)
- [CLs] : \text{YLan}\text{Realtek}\text{YNT}\text{Yreadme.txt}

POINT_

▶ ネットワークの設定を行うときに、「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、ファイル名のところに直接「c:¥support¥i386」と入力してください。「参照」は押さないでください。

本パソコンは DHCP を使用するように設定されています。このため、DHCP サーバーが存在しない環境では、次の現象が発生する場合があります。

- ・起動時に一部動作が遅くなる
- ・「DHCP クライアントは IP アドレスを取得できませんでした」とメッセージが表示されるこの現象を回避するためにネットワークの設定を変更する必要がある場合には、「トラブルシューティング」 「内蔵 LAN」 (\rightarrow P.101) をご覧ください。

POINT

▶ ドライバやネットワークの設定を変更した場合は、Windows NT Service Pack6a をインストールしてください(\rightarrow P.64)。

4 ドライブ関連

ドライブ関連について説明しています。

ドライブ構成

FAT を NTFS に変換する方法については、「ファイルシステムについて」 (\rightarrow P.33) をご覧ください。

■ Windows XP の場合

ドライブ	容量	備考
С	約 16GB	NTFS
D	〔総容量〕 - 〔C ドライブの容量〕	NTFS
Е	CD-ROM(CD-R/RW※)ドライブ	CD-ROM(CD-R/RW)搭載時
F	光磁気ディスクドライブ	(カスタムメイドオプション: CD-ROM ドライブがない場合は Eドライブ)

※:カスタムメイドオプションの場合は CD-R/RW ドライブ

■ Windows 2000 の場合

ドライブ	容量	備考
С	約 16GB	FAT32
D	〔総容量〕 - 〔C ドライブの容量〕	NTFS
Е	CD-ROM(CD-R/RW※)ドライブ	CD-ROM(CD-R/RW)搭載時
F	光磁気ディスクドライブ	(カスタムメイドオプション: CD-ROM ドライブがない場合は E ドライブ)

※:カスタムメイドオプションの場合は CD-R/RW ドライブ

POINT

▶ 光磁気ディスク媒体に2つ以上の区画がある場合は、2つ目以降の区画にドライブ割り当てが必要です。「光磁気ディスク・ユーティリティ」を使用して、割り当てを行ってください。

■ Windows NT の場合

ドライブ	容量	備考	
С	約 4GB	FAT (FAT16)	
D	〔総容量〕-〔Cドライブの容量〕	NTFS	
Е	CD-ROM(CD-R/RW※)ドライブ	CD-ROM(CD-R/RW)搭載時	
F	光磁気ディスクドライブ	カスタムメイドオプション	

※:カスタムメイドオプションの場合は CD-R/RW ドライブ

POINT

▶ 光磁気ディスク媒体に2つ以上の区画がある場合は、2つ目以降の区画にドライブ割り当てが必要です。「光磁気ディスク・ユーティリティ」を使用して、割り当てを行ってください。

■ Windows Me/98 の場合

ドライブ	容量	備考
С	約 4GB	FAT32
D	〔総容量〕 - 〔C ドライブの容量〕	FAT32
Е	CD-ROM(CD-R/RW)ドライブ [※]	CD-ROM(CD-R/RW)搭載時

※: カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択した場合、E ドライブが光磁気ディスクドライブに、F ドライブが CD-ROM または CD-R/RW ドライブになります。

DMA の設定

■ Windows XP/2000 の場合

□ DMA 設定対応表

デバイス	プライマリ		セカンダリ		
7/1/4/	0	1	0	1	
(TX)	• 0		0	0	
IDE-RAID モデル	0	0	0	_	
(FL)	•	0	○* 1	_	
IDE-RAID モデル	0	0	○*1		
(SL)	•	0	0	0	
(CL)	•	_	○* 1	_	
(CLs) (CX)	•	_	×	_	

●:ご購入時 DMA 設定

〇:DMA 設定可

×:DMA 設定不可

一: 增設不可

※ 1: カスタムメイドオプションで CD-R/RW ドライブをお使いの場合は、マルチワード DMA モード2に設定できます。

□ DMA の設定方法

POINT_

- ▶ IDE-RAID モデルでは、IDE-RAID カードに接続されたハードディスクの DMA 設定を、変更することができません。
- **1** Windows XP では「スタート」ボタンをクリックします。
- **2** 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- **3** 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。
- **4** 「IDE ATA/ATAPI コントローラ」をダブルクリックします。
- 5 「セカンダリ IDE チャネル」または「プライマリ IDE チャネル」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- **6** 「プライマリ(またはセカンダリ)IDE チャネルのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブをクリックします。
- 7 「DMA の設定」の表を参照して設定を変更し、「OK」をクリックします。

■ Windows NT の場合

□ DMA 設定対応表

デバイス	プライマリ		セカンダリ	
7717	マスター	スレーブ	マスター	スレーブ
(TX)	•	0	0	0
IDE-RAID モデル	0	0	0	_
(SL)	•	0	0	0
FMV-6000CL2	•	_	○* 1	_
(CLs) (CX)	•	_	×	_

- ●:ご購入時 DMA 設定
- 〇:DMA 設定可
- ×:DMA 設定不可
- 一:増設不可
- ※1: カスタムメイドオプションで CD-R/RW ドライブをお使いの場合は、マルチワード DMA モード 2 に設定できます。

□留意事項

- DMA の設定は、チャネル 0 (プライマリ IDE)、チャネル 1 (セカンダリ IDE) の単位で行われます。
- DMA 転送をサポートしていないドライブを接続して、DMA を設定した場合、正常な動作が 保証されません。
- IDE-RAID モデルの標準搭載のハードディスクは DMA (Ultra DMA/100) でのみ使用します。
- IDE-RAID モデルの場合、標準構成では、CD-ROM ドライブがチャネル 0 となります。プライマリ IDE にハードディスクを増設すると、ハードディスクがチャネル 0、CD-ROM ドライブがチャネル 1 になります。

□ DMA の設定方法

POINT

- ▶ IDE-RAID モデルでは、IDE-RAID カードに接続されたハードディスクの DMA 設定を、変更することができません。
- **1** 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 c:\support\sp\dmacheck. exe 「ATAPI DMA サポート」ウィンドウが表示されます。
- **4** 「DMA 検出状態」で「有効」をクリックし、「OK」をクリックします。「警告」ウィンドウが表示されます。
- **5** 「はい」をクリックします。 「完了」ウィンドウが表示されます。
- **6** 「OK」をクリックします。

以上で設定は終了です。再起動すると、DMA が有効になります。 設定が有効になっているかどうかを確認するには、再度 dmacheck.exe を起動します。

■ Windows Me/98 の場合

□ DMA 設定対応表

デバイス	プライマリ		セカンダリ		
	0	1	0	1	
(TX)	•	0	0	0	
(FL)	•	0	○* 1	_	
(SL)	•	0	0	0	
FMV-6000CL2	•	_	○*1	_	
(CLs) (CX)	•	_	×		

- ●:ご購入時 DMA 設定
- O:DMA 設定可
- ×:DMA 設定不可
- 一:増設不可

% 1: カスタムメイドオプションで CD-R/RW ドライブをお使いの場合は、マルチワード DMA モード 2 に設定できます。

□ DMA の設定方法

- **1** 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブの「種類別に表示」をクリックします。

- 3 DMA 設定を変更したいデバイス (CD-ROM なら「CD-ROM」、ハードディスク なら「ディスクドライブ」など)をダブルクリックします。
- 季要するデバイス名を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「(デバイス名) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 55 「設定」タブの「DMA」のチェックボックスで設定を変更し、「OK」をクリッ クします。

本パソコンの再起動後、設定が有効になります。

仮想メモリを設定する

ここでは、仮想メモリ(ページングファイル)の設定方法を説明します。

仮想メモリの設定を行うには、仮想メモリの「最大サイズ」分の空き容量がハードディスクに 必要です。本体搭載メモリ容量が大きい場合などに、選択したドライブに十分な空き容量がな いときは、別のドライブに設定を行ってください。

ただし、ブートパーティション以外に設定する場合、あるいはページングファイルサイズが小 さい場合などは、メモリダンプをファイルに出力できなくなります。ダンプファイルを取得す る場合は、システムドライブに最低でも物理メモリ+ 1MB (仮想メモリの容量は含まず) の 容量が必要です。

■ 対応機種/ OS

全機種/Windows XP/2000/NT

■ 設定方法

□ Windows XP の場合

仮想メモリの推奨値は、次のとおりです。 初期サイズ:本体搭載メモリの1.5倍 最大サイズ:初期サイズの2倍

- 1 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
- **2** 「スタート」ボタンをクリックします。
- 3 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックしま

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 「詳細設定」タブをクリックし、「パフォーマンス」の「設定」をクリックします。 「パフォーマンスオプション」ウィンドウが表示されます。
- **5** 「詳細設定」タブをクリックし、「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。 「仮想メモリ」ウィンドウが表示されます。

- **6** ページングファイルが保存されているドライブを変更する場合は、「ドライブ」 の一覧で変更するドライブをクリックします。
 - システムドライブに十分な空き容量がある場合は、ドライブの変更は必要ありません。
- 7 「選択したドライブのページングファイルサイズ」の「初期サイズ」または「最大サイズ」を適切な値に変更し、「設定」をクリックします。
- **8**「OK」をクリックします。
- 9 本パソコンを再起動します。

□ Windows 2000 の場合

仮想メモリの推奨値は、次のとおりです。 初期サイズ:本体搭載メモリの1.5倍 最大サイズ:初期サイズの2倍

- **1** 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
- **2** 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- **3** 「詳細」**タブをクリックし、「パフォーマンスオプション」をクリックします。** 「パフォーマンスオプション」ウィンドウが表示されます。
- **4** 「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。 「仮想メモリ」ウィンドウが表示されます。
- **5** ページングファイルが保存されているドライブを変更する場合は、「ドライブ」 の一覧で変更するドライブをクリックします。 システムドライブに十分な空き容量がある場合は、ドライブの変更は必要ありません。
- **6** 「選択したドライブのページングファイルサイズ」の「初期サイズ」または「最大サイズ」を適切な値に変更し、「設定」をクリックします。
- **7** 「OK」をクリックします。
- **8** 本パソコンを再起動します。

□ Windows NT の場合

仮想メモリの推奨値は、次のとおりです。 初期サイズ:本体搭載メモリ+11MB 最大サイズ:初期サイズ+50MB

- **1** 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
- **2** 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「パフォーマンス」タブをクリックし、「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。

「仮想メモリ」ウィンドウが表示されます。

- **4** ページングファイルが保存されているドライブを変更する場合は、「ドライブ」 の一覧で変更するドライブをクリックします。 システムドライブに十分な空き容量がある場合は、ドライブの変更は必要ありません。
- **5** 「選択したドライブのページングファイルサイズ」の「初期サイズ」または「最大サイズ」を適切な値に変更し、「設定」をクリックします。
- **6**「OK」をクリックします。
- 7 本パソコンを再起動します。

ファイルシステムについて

■ ファイルシステムの概要

ハードディスク上のシステムドライブは次のファイルシステムでフォーマットされています。

Windows XP: NTFS

Windows 2000/Me/98: FAT32

Windows NT: FAT16

☐ FAT16 ≥ FAT32

Windows Me/98 では、リカバリ時にハードディスクの領域を設定する場合は、ファイルの管理 形式として FAT16 または FAT32 のどちらかを選択できます。

FAT16 を選択した場合は最大 2GB までしかドライブを管理できません。2GB を超える領域を 作成したい場合は FAT32 を使用します。

POINT

- ▶ Windows NT では、FAT16 で最大 4GB までのドライブを管理できます。
- ▶ Windows XPでは、システムドライブ以外をFAT32に設定することができますが、FAT32にした場合、32GB以上はサポートされません。

☐ FAT と NTFS

FAT32 または、FAT16 から NTFS に変換することで、セキュリティや信頼性を強化できます。

POINT_

▶ NTFS に変換した場合、Windows XP/2000、Windows NT 4.0 以外の OS からは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。

	Windows NT 4.0		s NT 4.0	Windows	Windows 95	
	XP/2000	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前	Me/98	OSR2 以降	
Windows XP/2000 ONTFS	0	0	×	×	×	
Windows NT O NTFS	0	0	0	×	×	
FAT32	0	×	×	0	0	
FAT16	0	0	0	0	0	

- ▶ すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。
- ▶ Windows NT の場合
 - ・2GB より大きく割り当てられた NTFS のパーティションに対しては、NTFS の圧縮機能 は利用できません。利用するには、ディスクアドミニストレータなどを使用して 2GB 以 下のパーティションを作成する必要があります。
- ▶ Windows Me/98 の場合
 - ・NTFS に設定されているディスク領域を認識することはできません。この場合、FDISK コマンドで FAT16 または FAT32 に設定を変更してください。
 - ・フォーマットの形式やドライブの容量を変更した場合、変更したドライブの中身はすべて消えてしまいます。必要に応じてバックアップを行ってから、実行してください。
- ▶ FAT32をサポートしていないOS(MS-DOSやWindows NT 4.0など)からはFAT32でフォーマットしたハードディスクを認識できません。このため、MS-DOS で作成された起動フロッピーからインストールを行うアプリケーションの場合、インストールに失敗するなどの問題が発生することがあります。

■ ファイルシステムの変換方法

□対応 OS

Windows XP/2000/NT

□変換方法

ファイルシステムを FAT から NTFS に変換する方法を説明します。

一度ファイルシステムを NTFS に変換すると、FAT に戻すことはできません。 Windows NT モデルで FAT に戻す場合は、リカバリを行ってください。

操作の前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

1 次の操作を行います。

● Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

● Windows 2000 の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

● Windows NT の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。 「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

2 次のように入力します。

convert n: /fs:ntfs /v (nには、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します)

3 【Enter】キーを押します。

●ブートパーティションを変換する場合

「次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N)?」と表示されるので【Y】キーを押して【Enter】キーを押した後、Windows を再起動します。Windows の再起動後にドライブが変換され、再度本パソコンが再起動します。

拡張パーティションを変換する場合 ドライブが変換されます。

POINT

▶ ドライブにボリュームラベルが設定されている場合は、ボリュームラベルの入力を求められます。ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押してください。

FDISK で領域を設定する

■ 対応機種/ OS

全機種/Windows Me/98

POINT

▶ Windows XP/2000/NTでは、OS 起動後にディスク管理ツールを使用して、パーティションを作成することもできます。操作方法は、各 OS のヘルプを参照してください。

■ 概要

領域を3区画以上作成する場合、または1MB単位で区画を作成する場合は、FDISKコマンドを使用します。

手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

■ 手順の流れ

1 FDISK で必要に応じて領域を削除する

削除は次の順番で行います。

- 1. 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブの削除
- 2. 拡張 MS-DOS 領域の削除
- 3. 基本 MS-DOS 領域の削除

2 FDISK で領域を作成する

削除と逆の順番で行います。

POINT

▶ 領域を削除したり容量を変更したりすると、領域内のファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップをしてください。

3 ドライブをフォーマットする

リカバリを行うドライブは、リカバリ中にフォーマットされますので、フォーマットの必要はありません。

■ 基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

ハードディスク領域には、次の2種類があります。

● 基本 MS-DOS 領域

OS をインストールするために必要な領域です。プライマリマスターに接続されたハードディスク(1 台目のハードディスク)の基本 MS-DOS 領域は、起動ドライブ(C ドライブ)になります。プライマリマスター以外に接続されたハードディスク(増設したハードディスク)の場合は、基本 MS-DOS 領域の作成は必須ではありません。

● 拡張 MS-DOS 領域

アプリケーションやデータを格納するための領域です。基本 MS-DOS 領域を設定している場合は、残りの領域すべてが拡張 MS-DOS 領域になります。増設したハードディスクの場合は、ハードディスク全体を拡張 MS-DOS 領域にできます。

拡張 MS-DOS 領域内には、論理 MS-DOS ドライブを作成する必要があります。論理 MS-DOS ドライブを作成することで、拡張 MS-DOS 領域にドライブ名(D、E、F…)が割りふられます。論理 MS-DOS ドライブは複数(最高 23 個)作成できます。

POINT

▶ 本パソコンご購入時にはプライマリマスターのハードディスクに、基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域が設定され、拡張 MS-DOS 領域全体が 1 つの論理 MS-DOS ドライブに設定されています。

基本MS-DOS領域 (C) 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブ (D)

■ FDISK の起動方法と概要

Windows Me/98 がインストールされている環境で増設ハードディスクの領域を設定する場合は、FDISK を使用します。

FDISK は、次の手順で起動してください。

- **1** 『取扱説明書』をご覧になり、「リカバリ CD-ROM」(Windows Me の場合) または「セットアップ起動ディスク」(Windows 98 の場合)を起動します。
- 次の操作を行います。
 - Windows Me の場合 「リカバリ CD-ROM」画面が表示されたら、【N】キーを押します。 コマンドプロンプトが表示されます。

●Windows 98 の場合

「Windows 98 セットアップメニュー」画面が表示されたら、【2】キーを押します。「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されます。手順 4 へ進んでください。

3 次のように入力して、【Enter】キーを押します。

fdisk

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されます。

FAT16 で設定する場合は【N】キー、FAT32 で設定する場合は【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

「FDISK オプション」が表示されます。

- 5 次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。
 - ・MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成 基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。
 - アクティブな領域を設定

基本 MS-DOS 領域をアクティブ (領域に OS をインストールしたら起動できる状態) にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に 「A」と表示されます。

炒重要

- ▶ 基本 MS-DOS 領域 (領域 C) をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本 MS-DOS 領域は、必ずアクティブに設定してください。
- 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除 すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内 の論理 MS-DOS ドライブを削除する場合に選択します。
- ・領域情報を表示 現在の設定を確認する場合に選択します。
- ・現在のハードディスクドライブを変更 (ハードディスクを増設している場合に表示されます)

FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り替える場合に選択します。

6 設定終了後、変更を有効にするためには、本パソコンを再起動します。

再起動後、続けてリカバリまたは再インストールを行う場合は、『取扱説明書』を参照して操作を行ってください。

5 省電力

省電力について説明しています。

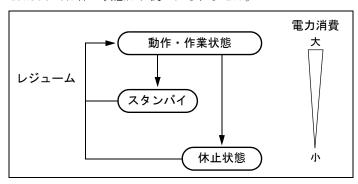
Windows XP/2000/Me/98 では、ご購入時はACPI(Advanced Configuration and Power Interface) モードに設定されています。

ここでは、ACPI モードに関する留意事項と、スタンバイモードの変更方法 $(\rightarrow P.45)$ を説明します。

Windows NT では省電力機能はお使いになれません。

スタンバイと休止状態

「スタンバイ」または「休止状態」を使用すると、Windows を終了しないで節電できます。 Windows 98 では休止状態はお使いになれません。



■ スタンバイ

実行中のプログラムやデータを、システム RAM(メモリ)に保持してパソコンの動作を中断させます。スタンバイ中は、電源ランプまたはスタンバイランプがオレンジ色に点灯します(\rightarrow 「各部名称」 - 「パソコン本体前面」)。「休止状態」よりも短い時間で、中断や回復(レジューム)を行うことができます。スタンバイ中は、わずかに電力を消費していて、電源は AC 電源から供給されます。

● 休止状態

実行中のプログラムやデータを、ハードディスクに書き込んで保存し、パソコン本体の電源を切ります。電源を自動的に切るため、「スタンバイ」よりも中断/回復(レジューム)にかかる時間が長くなります。なお、休止状態に入るようにするには、「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」ウィンドウで設定する必要があります。

■ 留意事項

□ Windows XP/2000/Me/98 の留意事項

- パソコンをお使いの状況によっては、スタンバイや休止状態、レジュームに時間がかかる 場合があります。
- スタンバイまたは休止状態にした後、すぐにレジュームしないでください。必ず、10 秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- 電源スイッチなどで本パソコンをスタンバイにしても、まれにすぐにレジュームすることがあります。その場合には、いったんマウスを動かしてから、再びスタンバイにしてください。
- 接続している周辺機器のドライバが正しくインストールされていない場合、スタンバイや 休止状態にならないことがあります。
- スタンバイ時/休止状態移行時/レジューム時に、一時的に画面が乱れる場合があります。
- 次の状態でスタンバイに移行させると、スタンバイまたは休止状態にならない/スタンバイまたは休止状態からレジュームしない/レジューム後に正常に動作しない/データが消失する問題が発生することがあります。
 - ・OS の起動処理中または終了処理中
 - ・パソコンが何か処理をしている最中(プリンタ出力中など)、および処理完了直後
 - ・ファイルアクセス中(フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROM ドライブや光磁 気ディスクドライブのアクセスランプが点灯中)
 - モデムやネットワークの通信中
 - ・オートラン CD-ROM(セットすると自動で始まる CD-ROM)を使用中
 - ・ビデオ CD や DVD-VIDEO などを再生中
 - ・音楽CDやゲームソフトなどのサウンドを再生中
 - ・サウンドや動画の再生中(MIDI/WAVE/AVI/MPEG/DAT 形式のファイルの再生中や音楽 CD の再生中)
 - ・CD-R や CD-RW に書き込みまたは書き換え中
 - ・ドライバのインストールが必要な周辺機器を接続しているが、対象のドライバのインストールが終了していないとき
 - ・ネットワーク環境で TCP/IP プロトコル以外のプロトコルを使用中
 - ・マウスの操作中
 - ・ACPI に対応していない別売の機器(拡張カード、周辺機器)を増設している場合
- BIOS セットアップの省電力メニューの設定は、一部を除いて無効となります。各設定の詳細は、「BIOS」 「メニュー詳細」をご覧ください。
- Windows XP/2000/Me/98 モデルでは、高度な省電力モード(ACPI S3)をサポートすることにより、ご購入時の状態では、スタンバイ時の消費電力を数ワットにすることを実現しています。

事前に、接続する周辺機器が ACPI に対応しているか、また、ACPI S3 / ACPI S1 モード対応かを周辺機器のメーカーに確認してください。従来の周辺機器(プリンタ、USB 機器等)、または ACPI モードに対応していない周辺機器を接続すると、次の状態になる場合があります。

- ・周辺機器が使用できない
- スタンバイ状態からレジュームできない
- ・本体がスタンバイ状態から復帰した後に、正常に動作しない

上記の状態になった場合は、「ACPI のスタンバイモードを設定する」(\rightarrow P.45)をご覧になり、スタンバイモードを高度 (ACPI S3) から標準 (ACPI S1) に切り替えてお使いください。また、内蔵オプションについても、ACPI S3 モードに対応していない場合があります。同様に、スタンバイモードを標準 (ACPI S1) に切り替えてお使いください。

なお、最新ドライバに変更することで ACPI に対応できる周辺機器もあります。詳細は周辺機器のメーカーに確認してください。

- PCI 拡張カードを増設する場合は、その拡張カードおよびドライバが「IRQ シェアリング(割り込みの共有)」をサポートしている必要があります。 増設する PCI カードが IRQ シェアリングをサポートしているかどうかは、各 PCI カードメーカーに確認してください。
- ◆ ネットワーク環境によっては、省電力機能を使用できない場合があります。
- CD-ROM 読み込み中にスタンバイや休止状態に移行すると、レジューム時にエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、【Enter】キーを押してください。
- コマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプトを全画面表示で使用しているときにスタン バイに移行すると、スタンバイからレジュームしたときにコマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプトの全画面表示が解除されていることがあります。

この場合、タスクバーの「コマンドプロンプト」または「MS-DOS プロンプト」部分をクリックすると、全画面表示に戻ります。

また、Windows 2000 では【Alt】+【Enter】キーを押すと、コマンドプロンプトの全画面表示が解除され、画面の乱れがなくなります。

- ハードディスクに必要な空き容量がない場合、休止状態は使用できません。
- ネットワーク環境で LAN 着信によるレジューム (Wakeup on LAN 機能)を使用すると、ホストコンピュータまたは他のコンピュータからのアクセスにより、スタンバイまたは休止状態のコンピュータがレジュームする可能性があります。次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。なお設定値が 20 分より短いと、本パソコンがレジュームしてしまうことがあります。20 分以上の値に設定してください。
 - 1. 「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」ウィンドウを表示します $(\to P.42)$ 。
 - 2.「電源設定」タブの「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「20分後」以上に設定します。
- TCP/IPの設定でDHCPが有効の場合、スタンバイ時にDHCPサーバーから割り当てられたIP アドレスのリース期限が切れたとき、パソコン本体がレジュームすることがあります。 この場合は、DHCPサーバーのIPアドレスのリース期間を延長するか、またはDHCPの使 用を中止し固定IPをご使用ください。
- プリンタなどの周辺装置を接続した状態で休止状態にすると、レジューム時に周辺装置の 情報が初期化されるため、中断する前の作業状態に戻らないことがあります。
- スタンバイまたは休止状態へ移行させるときは、手動(電源スイッチを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」または「休止状態」を選択する(→ P.43)、などの操作)ではなく次のように設定することをお勧めします。この設定を行うと、ファイルアクセス中や通信中などに省電力状態になってしまったり、Windows 98 では電源スイッチを使った強制的なスタンバイへの移行を回避できます。
 - ・「電源設定」タブの「システムスタンバイ」または「システム休止状態」で移行するまで の時間(例えば「30分後」)を設定します。
 - ・Windows 98 では「詳細」タブの「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」に設定します(ご購入時設定済)。

- スタンバイへ移行する際、「デバイスのドライバが原因でスタンバイ状態に入れません。ア プリケーションをすべて閉じてから、もう一度やり直してください。問題が解決しない場 合は、そのドライバを更新することをお勧めします。」の警告ウィンドウが表示されて、ス タンバイへ移行できない場合があります。これは、プログラムが動作中でスタンバイに入 れない状態を示します。スタンバイへ移行させるためには、動作中のプログラムを終了し てください。
- ◆ ネットワーク環境下で省電力機能を使用する場合、次の条件下では、使用するプロトコルやアプリケーションによっては、不具合(スタンバイおよび休止状態からの復帰時に正常に通信できないなど)が発生することがあります。
 - ・TCP/IPプロトコル以外のプロトコルを使用している場合
 - ・ネットワーク環境で通信中に、手動(電源スイッチを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」または「休止状態」を選択する $(\rightarrow P.43)$ 、などの操作)によりスタンバイおよび休止状態に移行した場合
 - ・ネットワーク上でファイルの共有を設定し、手動(電源スイッチを押す、終了ウィンドウで「スタンバイ」または「休止状態」を選択する (→ P.43)、などの操作)によりスタンバイへ移行したときに、次のメッセージが表示されて「はい」をクリックした場合「このコンピュータに接続しているユーザーが次のファイルを開いています。

xxxxxx(¥¥yyyyy)

このまま続けるとファイルを閉じますが、ファイルを開いているユーザーはデータを失うかも知れません。続けますか?」

●「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」ウィンドウにある「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」の設定はネットワークに影響しません。

□ Windows XP/2000 の留意事項

- OpenGL を使用したスクリーンセーバーが起動しているときには、スタンバイおよびシステム休止状態への移行はできません。
- IDE-RAID モデルでリビルドおよびシンクロナイズを実行する場合には、「電源オプションのプロパティ」 「電源設定」タブの「システムスタンバイ」および「システム休止状態」で、移行するまでの時間を「なし」に設定してください。

□ Windows XP の留意事項

● IDE-RAID モデルは、休止状態(ACPI S4)は使用できません。

□ Windows Me/98 の留意事項

- スクリーンセーバーの「3D迷路」を使用する場合、「設定」で「全画面表示にする」のチェックを外してください。
- カスタムメイドオプションで SCSI カードを選択している場合は、ACPI モードの高度(ACPI S3) は使用できません。標準 (ACPI S1) でお使いください。

□ Windows Me の留意事項

● 省電力モードを「標準 (ACPI S1)」に設定してお使いになる場合、PS/2 キーボードを使用して省電力から復帰すると、マウスやキーボードの入力が正常にできなくなる場合があります。この場合は、キーボード左側の【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを1回押してください。なお本現象を回避するためには、省電力から復帰させるときに、マウスを使用するか、PS/2 キーボードの英数キーを押すようにしてください。

省電力の設定

■「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」の表示

本パソコンの電源を管理することができます。

- 次の操作を行います。
 - Windows XP の場合 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
 - Windows 2000/Me/98 の場合 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。 「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- **2** Windows XP では、「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
- 3 「電源オプション」または「電源の管理」をクリックまたはダブルクリックします。

「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」が表示されます。

POINT

▶ Windows Me で「コントロールパネル」ウィンドウに「電源の管理」アイコンがない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

■ 設定を変更する

お使いの状況に合わせて、各タブで設定を変更し、「適用」をクリックしてください。

□「雷源設定」タブ

本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、省電力機能が働くまでの時間を設定します。

スタンバイするまでの時間は「システムスタンバイ」で設定してください。

Windows XP/2000/Me では「休止状態」タブで休止状態を選択した場合、休止状態までの時間は「システム休止状態」で設定してください。

□「詳細設定」または「詳細」タブ

電源スイッチを押したときの、パソコン本体の動作状態を設定します(ご購入時には、電源を切るように設定されています)。

次のように設定できます。

- ●「コンピュータの電源ボタンを押したとき」
 - : 電源スイッチを押したときの状態を設定できます。
- Windows XP:「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」

Windows 2000:「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」

Windows Me:「スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する」

: スタンバイからレジュームするときにパスワードの入力を求めるメッセージを表示させる設定を行います。

□「休止状態」タブ(Windows XP/2000/Me)

本パソコンの動作を中断するときに、メモリ内のデータなどの保存先をハードディスクに変更するかどうかを設定します。

「休止状態」タブの「休止状態を有効にする」または「休止状態をサポートする」をチェックすると、「詳細設定」または「詳細」タブの「電源ボタン」の各項目で「休止状態」が選択できるようになります。

スタンバイ/休止状態にする

■ 終了ウィンドウを使う(Windows 98 の休止状態を除く)

終了ウィンドウを使用してスタンバイ/休止状態にする場合は、次の手順を行ってください。 なお、Windows 98 モデルでは、休止状態には移行できません。

POINT_

- ▶「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」での設定が必要な場合があります (→ P.42)。
- **1** 「スタート」ボタンから次のメニューをクリックします。

Windows XP:「終了オプション」 Windows 2000:「シャットダウン」 Windows Me/98:「Windows の終了」

2 「スタンバイ」または「休止状態」を選択します。

POINT_

▶ Windows XP の休止状態について

Windows XP の終了ウィンドウには、「休止状態」は表示されません。【Shift】キーを押すと、「スタンバイ」の項目が「休止状態」に変わります。 休止状態にする場合は、【Shift】キーを押しながら、「休止状態」を選択します。

3 Windows 2000/Me/98 の場合は「OK」をクリックします。

しばらくすると各省電力状態に移行します。

スタンバイまたは休止状態からのレジューム

■ スタンバイおよび休止状態からのレジューム条件

ACPI モードの標準(ACPI S1)/高度(ACPI S3)のスタンバイおよび休止状態から、次の表で○になっているレジューム要因で通常の状態にレジュームさせることができます。

レジューム要因	ACPI モード標準 (ACPI S1)	ACPI モード高度 (ACPI S3)	休止状態 (ACPI S4) ^{※9}
電源スイッチ※1	0	0	0
PS/2 キーボード、PS/2 マウス ^{※ 2}	○* 7	×	×
ワイヤレスキーボード、 ワイヤレスマウス ^{※2}	○*7	×	×
USB キーボード、USB マウス ^{※2}	○* 8	0	×
時刻指定※2※3	0	0	0
LAN * 2 * 4	0	0	0
モデム着信 (Ring Indicator 信号)※2※5	0	0	○* 10
PCI 拡張カード (PME# 信号) ※2※6	0	0	0

- ※1:「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」-「詳細設定」または「詳細」タブの「電源ボタン」の「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」または「電源オフ」に設定した場合でも、電源スイッチを押すとスタンバイからレジュームします。
- ※2:標準(ACPIS1)/高度(ACPIS3)のスタンバイから復帰したとき、レジュームは行われますが画面が表示されません。キーボードかマウスからの入力があると、画面が表示されます。
- ※3:「タスク」を使用した場合
- ※4:「デバイスマネージャ」ー「ネットワークアダプタ」のLANコントローラのプロパティの「電源の管理」タブの次の項目をチェックする必要があります。
 - Windows XP の場合
 - ・「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」
 - ・「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」
 - Windows 2000 の場合
 - ・「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」
 - ・「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」
 - Windows Me の場合
 - 「節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」
 - ・「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」
 - Windows 98 の場合
 - ・「節電のためにコンピュータの電源を自動的に切る」
 - ・「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」
- ※5:通信ソフトを起動し、着信待ち状態にしておく必要があります。
- ※ 6: PME# 信号をサポートした PCI 拡張カード (PCI Revision 2.2 規格に準拠) を搭載した場合
- ※ 7: Windows XP/2000 の場合

「デバイスマネージャ」 - 「キーボード」または「マウスとそのほかのポインティングデバイス」の PS/2 キーボードまたは PS/2 マウスのプロパティで「電源の管理」タブが表示される場合は、次の項目をチェックする必要があります

- ・Windows XP : 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」
- ・Windows 2000:「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」また、[TX] の場合は、PS/2 キーボード、PS/2 マウスのどちらか一方でも上記項目をチェックすると、PS/2 キーボード、PS/2 マウスのどちらを使用してもスタンバイモードからレジュームします。
- Windows Me の場合

省電力モードを「標準(ACPI S1)」に設定してお使いになる場合、PS/2 キーボードを使用して省電力から復帰すると、マウスやキーボードの入力が正常にできなくなる場合があります。

この場合は、キーボード左側の【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを 1 回押してください。本現象を回避するためには、省電力から復帰させるときに、マウスを使用するか、PS/2 キーボードの英数キーを押すようにしてください。

※8: ■ Windows XP/2000 の場合

「デバイスマネージャ」 - 「キーボード」または「マウスとそのほかのポインティングデバイス」の USB キーボードまたは USB マウスのプロパティの「電源の管理」タブで次の項目をチェックする必要があります。

- ・Windows XP:「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」
- ・Windows 2000:「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」

- ※9: Windows XP の場合
 - IDE-RAID モデルは、休止状態(ACPI S4)は使用できません。
- ※ 10: Windows 2000 の場合

[CLs] の場合、BIOS セットアップでの設定が必要となります(→「BIOS」-「メニュー詳細」)。

ACPI のスタンバイモードを設定する

■ 対応機種/ OS

全機種/Windows XP/2000/Me/98

■ 概要

ACPI のスタンバイモードには、次の2種類があります。

- 高度(ACPI S3)…メモリ以外の装置の動作を停止します。標準(ACPI S1)と比較し、省電力に優れる一方でレジュームには時間がかかります。
- 標準 (ACPI S1) …CPU の動作を停止します。

ご購入時には、高度(ACPIS3)に設定されています。スタンバイモードを変更する方法は、次のとおりです。

POINT

- ▶ 増設する周辺機器は高度(ACPIS3)に対応している必要があります。 対応していない周辺機器を接続する場合は、標準(ACPIS1)に切り替えてお使いください。
- ▶ Windows Me/98 では次の項目に留意してください。
 - ・USB ハブ経由を含む USB 機器を使用する場合、高度(ACPI S3)のスタンバイからの レジューム後に USB 機器が使用できなくなることがあります。その場合は、USB ハブ とパソコン本体を接続している USB ケーブルをいったん抜き、再度差し込んでくださ い。
 - ・カスタムメイドオプションの SCSI カードを選択している場合は、標準 (ACPI S1) に切り替えてお使いください。
- ▶ Windows 98 では次の項目にも留意してください。
 - ・高度(ACPIS3)から復帰後、USBキーボードのキーリピート機能が働かなくなること があります。
 - ・[TX] [SL]、FMV-6000CL2、[CX] の場合、高度(ACPI S3)のスタンバイからの復帰処理途中で、一時的に画面の文字の大きさが大きくなる、画面に茶色等の背景が表示されるなど、画面が乱れることがあります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。

■ スタンバイモードを高度から標準に変更する

- □ Windows XP/2000 の場合
 - **1** BIOS セットアップで、スタンバイモードを標準 (ACPI S1) に設定します (→ 「BIOS」)。
 - [TX]

「Power」 ─ 「ACPI S3」: Disabled

• (FL) (SL) (CL)

「省電力」-「ACPI 設定」-「スタンバイモード」: 標準

• [CLs] [CX]

「詳細」-「省電力設定」-「ACPI 設定」: 標準

POINT

- ▶ 上記の操作を行うと、電源管理の設定がご購入時の状態に戻ります。設定を変更していた場合は、「電源オプションのプロパティ」または「電源の管理のプロパティ」で、再設定してください(→P.42)。
- ▶ [SL]、FMV-6000CL2 をお使いの場合、増設するディスプレイカードによっては、マルチモニタ使用時に、BIOS セットアップの「省電力」-「ACPI 設定」-「ディスプレイアダプタの初期化」-「使用する」に設定していると、スタンバイから復帰できなくなることがあります。その場合は、「使用しない」に設定してください。
- ▶ [SL]、FMV-6000CL2 の場合、BIOS セットアップの「省電力」-「ACPI 設定」-「スタン バイモード」を「高度」に設定している場合は、BIOS セットアップの「省電力」-「ACPI 設定」-「ディスプレイアダプタの初期化」を「使用する」に設定してお使いください。

□ Windows Me/98 の場合

POINT

- ▶ [TX] の Windows 98 の場合は、「Windows XP/2000 の場合」(→ P.45) と同様の方法で、スタンバイモードを高度から標準に変更できます。
- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。 [FL] [SL]、FMV-6000CL2、[CLs] [CX]の Windows 98 の場合は、手順7へ進んでください。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

msconfig

「システム設定ユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- **4** 「詳細設定」をクリックします。 「アドバンストラブルシューティングの設定」ウィンドウが表示されます。
- 5 「DeepSleep を使用可能にする」のチェックボックスのチェックを外し、「OK」をクリックします。
- **6**「OK」をクリックします。
- **7** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」 に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]: ¥other¥chgsmode¥chgsmode. exe

- **3** 「次の画面」をクリックします。 「スタンバイモードの設定」ウィンドウが表示されます。
- 「標準」をクリックし、「OK」をクリックします。 再起動メッセージが表示されます。
- **10** 「OK」をクリックします。

[TX] [FL] [SL]、FMV-6000CL2、[CLs] はこれで終了です。[CX] は続けて次の操作を行ってください。

- **11** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **12** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROMドライブ]: ¥oeminfo¥98¥ps2res. reg

■ スタンバイモードを標準から高度に変更する

標準から高度に変更するには、BIOS 設定を元に戻してください。

- **1** BIOS セットアップで、次の設定を変更します(→「BIOS」)。
 - [TX]

「Power」 − 「ACPI S3 | : Enabled

• [FL] [SL] [CL]

「省電力」- 「ACPI 設定」- 「スタンバイモード」: 高度

• [CLs] [CX]

「詳細」-「省電力設定」-「ACPI 設定」: 高度

2 変更後、リカバリまたは再インストールを実行します(→『取扱説明書』)。

POINT

- ▶ [TX] の場合、次の内容に留意してください。 「デバイスマネージャ」 – 「キーボード」または「マウスとそのほかのポインティングデバイス」の PS/2 キーボードまたは PS/2 マウスのプロパティの「電源の管理」タブで次の項目をチェックすると、BIOS 設定にかかわらず、スタンバイモードが標準(ACPI S1)になります。
 - ・Windows XP : 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」
 - ・Windows 2000:「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」

6 その他

ご購入時のデバイス一覧です。

デバイス一覧

POINT

▶ 本パソコンの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。その際、デバイス名 称などが本書の記述と異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

■ Windows XP の場合

デバイス	名称	備考
DVD/CD-ROM	(TX)	
ドライブ	SAMSUNG CD-ROM SC-140P または	
	SAMSUNG CD-ROM SC-140C	
	(SL)	
	MATSHITA CD-ROM CR-594 または	
	SAMSUNG CD-ROM SC-140P または	
	SAMSUNG CD-ROM SC-140C [FL]、FMY-7000CL2	
	TEAC CD-224E	
	FMV-6000CL2、[CLs] [CX]	
	NEC CD-ROM DRIVE:282 または	
	TEAC CD-224E または	
	SAMSUNG CD-ROM SN-124	
	(TX) (SL)	CD-R/RW ドライブ
	_NEC NR-7900A	(カスタムメイドオプション)
	(FL) (CL) (CLs)	
	MATSHITA UJDA340	
	(CX)	
	TEAC CD-W28E	
IDE ATA/ATAPI	(TX) (FL) (SL), FMV-6000CL2, (CX)	
コントローラ	Intel(r) 82801BA Bus Master IDE Controller	
	セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル	
	FMV-7000CL2	
	Intel(R) 82801DB Ultra ATA Storage Controller-24CB	
	セカンダリ IDE チャネル	
	プライマリ IDE チャネル	
	(CLs)	
	VIA Bus Master IDE Controller	
	セカンダリ IDE チャネル	
	プライマリ IDE チャネル	
PCMCIA アダプタ	(CX)	
	O2Micro OZ6933 CardBus Controller	
	O2Micro OZ6933 CardBus Controller	

デバイス	名称	備考
SCSI と RAID	(TX) (FL) (SL) (CL) (CLs)	SCSI カード
コントローラ	Adaptec 2915/2930LP PCI SCSI Controller	(カスタムメイドオプション)
	IDE-RAID モデル	IDE-RAID カード
	Windows XP Promise FastTrak100 TX/LP (tm) Seriese	
	Controller	
USB (Universal Serial	[TX] [FL] [SL], FMV-6000CL2, [CX]	
Bus) コントローラ	Intel(r) 82801BA/BAM USB Universal Host	
	Controller - 2442	
	Intel(r) 82801BA/BAM USB Universal Host	
	Controller - 2444	
	USB ルート ハブ	
	USB ルート ハブ FMV-7000CL2	
	Intel PCI to USB Enhanced Host Controller	
	Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller-	
	24C2	
	Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller-	
	24C4	
	USB 2.0 Root Hub	
	USBルートハブ	
	USB ルート ハブ	
	(CLs)	
	USB ルート ハブ	
	VIA Rev 5 またはそれ以降の USB ユニバーサル	
	ホストコントローラ	
キーボード	日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl + 英数)	
コンピュータ	ACPI ユニプロセッサ PC	
サウンド、ビデオ、	SoundMAX Integrated Digital Audio	
およびゲーム	オーディオ CODEC	
コントローラ	ビデオ CODEC	
	メディアコントロールデバイス	
	レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス	
スマートカード		スマートカードリーダ
読み取り装置	[TX] [FL] [SL] [CL] Fujitsu Siemens USB Smartcard Reader	スマートガードリータ (カスタムメイドオプション)
	·	
ディスクドライブ	(TX) (FL) (SL) FUJITSU MCM3130AP-S	光磁気ディスクドライブ (上段:1.3GB、下段:640MB)
	FUJITSU MCM3064AP	(上段:1.3GB、下段:640MB) (カスタムメイドオプション)
	IDE-RAID モデル	IDE-RAID
	Promise 1X2 Mirror/RAID1 SCSI Disk Device	IDE-IMID
	Tronnoc 1712 Willion Reliable Debt Disk Device	

デバイス	名称	備考
ディスプレイ アダプタ	(TX) [FL] Radeon VE [SL]、FMV-6000CL2、[CX] Intel(R) 82815 Graphics Controller FMV-7000CL2 Intel(R) 82845G/GL Graphics Controller [CLs] S3 Graphics ProSavage + utilities	Win 4 Win 5 Wi
	(TX) GV-GF3000D(GeForce3) [FL] Radeon 7500	カスタムメイドオプション (排他選択)
ネットワーク アダプタ	[TX]、FMV-7000CL2 Intel(R) PRO/100 VM Network Connection [FL] [SL]、FMV-6000CL2、[CX] Intel(R) PRO/100 Network Connection [CLs] Realtek RTL8139/810X Family PCI Fast Ethernet NIC	
	[TX] [FL] [SL] [CL] Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	セキュリティ LAN カード (カスタムメイドオプション)
フロッピーディスク コントローラ	Fujitsu 3-mode floppy controller (Type 00)	
フロッピーディスク ドライブ	フロッピーディスク ドライブ	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/ 640KB の各容量のフロッピーディス クを読み書きできます。
ポート (COM と LPT)	「TX」 プリンタポート (LPT1) 通信ポート (COM1) 通信ポート (COM2) [FL] [SL] [CL] [CLs] [CX] プリンタポート (LPT1) 通信ポート (COM1)	
マウスとそのほかの ポインティングデバ イス	PS/2 互換マウス	

■ Windows 2000 の場合

デバイス	名称	備考
DVD/CD-ROM ドライブ	[TX] SAMSUNG CD-ROM SC-140P または SAMSUNG CD-ROM SC-140C [SL]	
	MATSHITA CD-ROM CR-594 または SAMSUNG CD-ROM SC-140P または SAMSUNG CD-ROM SC-140C [FL]、FMV-7000CL2 TEAC CD-224E	
	FMV-6000CL2、〔CLs〕〔CX〕 NEC CD-ROM DRIVE:282 または TEAC CD-224E または SAMSUNG CD-ROM SN-124	
	[TX] [SL] _NEC NR-7900A [FL] [CL] [CLs] MATSHITA UJDA340 [CX] TEAC CD-W28E	CD-R/RW ドライブ (カスタムメイドオプション)
IDE ATA/ATAPI コントローラ	「TX】 「FL】 (SL】、FMV-6000CL2、 (CX) Intel(R) 82801BA Ultra ATA Storage Controller - 244B セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル FMV-7000CL2 Intel(R) 82801DB Ultra ATA Storage Controller-24CB セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル 「CLs」 VIA Bus Master IDE Controller セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル	
PCMCIA アダプタ	CX O2Micro OZ6933 CardBus Controller O2Micro OZ6933 CardBus Controller	
SCSI と RAID コントローラ	「TX」(FL) (SL) (CL) (CLs) Adaptec SCSI Card 2915LP/2930LP IDE-RAID モデル	SCSI カード (カスタムメイドオプション) IDE-RAID カード
	Win2000 Promise FastTrak100 TX/LP (tm) Series Controller	IDE-KAID // F

デバイス	名称	備考
USB (Universal Serial Bus) コントローラ	「TX】 「FL】 「SL】、FMV-6000CL2、「CX】 Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller - 2442 Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal Host Controller - 2444 USB ルートハブ USB ルートハブ Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller 24C2 Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller 24C4 USB 2.0 Root Hub USB ルートハブ USB ルートハブ USB ルートハブ	
キーボード	日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl + 英数)	
コンピュータ	ACPI ユニプロセッサ PC	
サウンド、ビデオ、 およびゲーム コントローラ	SoundMAX Integrated Digital Audio オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス	
スマートカード 読み取り装置 ディスクドライブ	(TX) (FL) (SL) (CL) Fujitsu Siemens USB Smartcard Reader (TX) (FL) (SL)	スマートカードリーダ (カスタムメイドオプション) 光磁気ディスクドライブ
	FUJITSU MCM3130AP-S FUJITSU MCM3064AP IDE-RAID モデル Promise 1/2 Mirror/RAID1 SCSI Disk Device	(上段:1.3GB、下段:640MB)(カスタムメイドオプション)IDE-RAID
ディスプレイ アダプタ	[TX] [FL] Radeon VE [SL], FMV-6000CL2, [CX] Intel(R) 82815 Graphics Controller FMV-7000CL2 Intel(R) 82845G/GL Graphics Controller [CLs] S3 Graphics Inc. ProSavage	解像度/色数 ((CX) 以外): 800 × 600 / High Color (16 ビット) 解像度/色数 ((CX)): 1024 × 768 / High Color (16 ビット) リフレッシュレート: 60 ヘルツ
	[TX] GV-GF3000D(GeForce3) [FL] Radeon 7500	カスタムメイドオプション (排他選択)

デバイス	名称	備考
ネットワーク	[TX], FMV-7000CL2	
アダプタ	Intel(R) PRO/100 VM Network Connection	
	(FL) (SL), FMV-6000CL2, (CX)	
	Intel(R) PRO/100 Network Connection	
	(CLs)	
	Realtek RTL 8139/810X Family PCI Fast Ethernet NIC	
	(TX) (FL) (SL) (CL)	セキュリティ LAN カード
	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	(カスタムメイドオプション)
フロッピーディスク	Fujitsu 3-mode floppy controller (Type 00)	
コントローラ		
フロッピーディスク	Fujitsu 3-mode floppy disk drive	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/
ドライブ		640KB の各容量のフロッピーディス
		クを読み書きできます。
ポート(COMとLPT)	(TX)	
	プリンタポート(LPT1)	
	通信ポート(COM1)	
	通信ポート(COM2)	
	(FL) (SL) (CL) (CLs) (CX)	
	プリンタポート(LPT1)	
	通信ポート(COM1)	
マウスとそのほかの	PS/2 互換マウス	
ポインティングデバ		
イス		

■ Windows NT の場合

デバイス	名称	備考
CD-ROM ドライブ	IDE CD-ROM (ATAPI 1.2)	CD-R/RW ドライブ (カスタムメイドオ プション) も同様
SCSI アダプタと RAID コントローラ	[TX] [SL], FMV-6000CL2, [CLs] Adaptec 19160, 29160(N)/(LP), 39160, AHA-	SCSI カード (カスタムメイドオプション)
	IDE-RAID モデル WinNT Promise FastTrak (tm) Controller	IDE-RAID カード
キーボード	PC/AT 106 日本語 (A01) キーボード	
サウンド**	SoundMAX Integrated Digital Audio のオーディオ	MIDI ファイルの再生機能はありません。
ディスプレイ アダプタ ネットワーク アダプタ	[TX] Radeon VE [SL]、FMV-6000CL2、[CX] Intel(R) Graphics Technology Device [CLs] S3 Graphics Inc. ProSavage Display Driver [TX] [SL]、FMV-6000CL2、[CX] Intel(R) PRO/100 VM Network Connection	解像度/色数([CX] 以外): 800×600/65536 色 解像度/色数([CX]): 1024×768/65536 色 リフレッシュレート: 60ヘルツ プロトコル: NetBEUI / TCP/IP 識別: WORKGROUP
	[CLs] Realtek RTL8139(A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet Adapter [TX] [SL]、FMV-6000CL2	セキュリティ LAN カード
フロッピーディスク	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100) 3 モードフロッピードライブ	(カスタムメイドオプション) 1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/640KB の各容量のフロッピーディスクを読み 書きできます。

※:ご購入時の状態では表示されません。サウンドドライバをインストールした場合に表示されます。

■ Windows Me の場合

デバイス	名称	備考
CD-ROM	[SL] MATSHITA CD-ROM CR-594 または SAMSUNG CD-ROM SC-140P または SAMSUNG CD-ROM SC-140C FMV-6000CL2、[CLs] NEC CD-ROM DRIVE:282 または TEAC CD-224E または SAMSUNG CD-ROM SN-124	
	[SL] _NEC NR-7900A FMV-6000CL2、[CLs] MATSHITA UJDA340	CD-R/RW ドライブ (カスタムメイドオプション)
SCSI コントローラ	2915LP/2930LP PCI SCSI Controller	SCSI カード (カスタムメイドオプション)
Smart Card Reader	[SL]、FMV-6000CL2 Fujitsu Siemens USB Smartcard Reader	スマートカードリーダ (カスタムメイドオプション)
キーボード サウンド、ビデオ、 およびゲームの コントローラ	106 日本語(A01)キーボード(Ctrl + 英数) SoundMAX Integrated Digital Audio	
ディスクドライブ	[SL] FUJITSU MCM3130AP-S FUJITSU MCM3064AP	光磁気ディスクドライブ (上段:1.3GB、下段:640MB) (カスタムメイドオプション)
ディスプレイ アダプタ	[SL], FMV-6000CL2 Intel(R) 82815 Graphics Controller [CLs] S3 Graphics Inc. ProSavage KL/KM	
ネットワーク アダプタ	[SL]、FMV-6000CL2 Intel(R) PRO/100 Network Connection ダイヤルアップアダプタ [CLs] Realtek RTL8139/810X Family PCI Fast Ethernet NIC ダイヤルアップアダプタ	
ハードディスク コントローラ	[SL]、FMV-6000CL2 Intel(r) 82801BA Ultra ATA Storage Controller セカンダリ IDE コントローラ(デュアル FIFO) プライマリ IDE コントローラ(デュアル FIFO) [CLs] VIA Bus Master PCI IDE Controller セカンダリ IDE コントローラ(デュアル FIFO) プライマリ IDE コントローラ(デュアル FIFO)	

デバイス	名称	備考
フロッピーディスク	標準フロッピーディスクコントローラ	1.44MB/720KB の各容量のフロッピー
コントローラ		ディスクを読み書きできます。※1
ポート (COM/LPT)	プリンタポート (LPT1)	
	通信ポート (COM1)	
マウス	PS/2 互換マウスポート	
モニタ	Super VGA 800 × 600	解像度/色数
		800 × 600 / High Color(16 ビット)
		リフレッシュレート
		アダプタの既定値
ユニバーサル	(SL), FMV-6000CL2	
シリアルバス	Intel(r) 82801BA/BAM USB Universal	
コントローラ	Host Controller 1	
	Intel(r) 82801BA/BAM USB Universal	
	Host Controller 2	
	USB ルートハブ	
	USB ルートハブ	
	(CLs)	
	USB ルートハブ	
	VIA Tech 3038 PCI to USB Universal Host Controller	

% 1 : 1.2MB のフロッピーディスクをお使いになる場合は、「3 モードフロッピーディスクドライバ」をインストールする必要があります。

■ Windows 98 の場合

デバイス	名称	備考
デバイス CD-ROM	SAMSUNG CD-ROM SC-140P または SAMSUNG CD-ROM SC-140C (SL) MATSHITA CD-ROM CR-594 または SAMSUNG CD-ROM SC-140P または SAMSUNG CD-ROM SC-140C (FL) TEAC CD-224E FMV-6000CL2、(CLs) (CX) NEC CD-ROM DRIVE:282 または TEAC CD-224E または SAMSUNG CD-ROM SN-124 (TX) (SL) _NEC NR-7900A	での (カスタムメイドオプション)
	[FL]、FMV-6000CL2、[CLs] MATSHITA UJDA340 [CX] TEAC CD-W28E	
PCMCIA ソケット	O2Micro OZ6933/711E1 CardBus Controller O2Micro OZ6933/711E1 CardBus Controller	
SCSI コントローラ	(TX) (FL) (SL), FMV-6000CL2, (CLs) 2915LP/2930LP PCI SCSI Controller	SCSI カード (カスタムメイドオプション)
Smart Card Reader	[TX] [FL] [SL], FMV-6000CL2 Fujitsu Siemens USB Smartcard Readers	スマートカードリーダ (カスタムメイドオプション)
キーボード	106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl + 英数)	
サウンド、ビデオ、 およびゲームの コントローラ	SoundMAX Integrated Digital Audio	
ディスクドライブ	(TX) (FL) (SL) FUJITSU MCM3130AP-S FUJITSU MCM3064AP	光磁気ディスクドライブ (上段:1.3GB、下段:640MB) (カスタムメイドオプション)
ディスプレイ アダプタ	[TX] [FL] Radeon VE [SL], FMV-6000CL2, [CX] Intel(R) 82815 Graphics Controller [CLs] S3 Graphics Inc. ProSavage KL/KM	
	[TX] GV-GF3000D(GeForce3) [FL] Radeon 7500	カスタムメイドオプション(排他選択)

デバイス	名称	備考
ネットワーク アダプタ	[TX] Intel(R) PRO/100 VM Network Connection	
	ダイヤルアップアダプタ	
	(FL) (SL), FMV-6000CL2, (CX)	
	Intel(R) PRO/100 Network Connection	
	ダイヤルアップアダプタ [CLs]	
	Realtek RTL8139(A/B/C/8130)	
	PCI Fast Ethernet NIC	
	ダイヤルアップアダプタ	
ハードディスク	[TX] [FL] [SL], FMV-6000CL2, [CX]	
コントローラ	Intel(R) 82801BA Ultra ATA Storage Controller -	
	244B	
	Primary IDE controller (dual fifo)	
	Secondary IDE controller (dual fifo) [CLs]	
	VIA Bus Master PCI IDE Controller	
	セカンダリ IDE コントローラ(デュアル FIFO)	
	プライマリ IDE コントローラ(デュアル FIFO)	
フロッピーディスク	標準フロッピーディスクコントローラ	1.44MB/720KB の各容量のフロッピーディ
コントローラ		スクを読み書きできます。※1
ポート (COM/LPT)	(TX)	
	プリンタポート (LPT1)	
	通信ポート (COM1)	
	通信ポート (COM2) [FL] [SL]、FMV-6000CL2、[CLs] [CX]	
	プリンタポート (LPT1)	
	通信ポート (COM1)	
マウス	PS/2 互換マウスポート	
モニタ	(TX) (FL) (SL), FMV-6000CL2, (CLs)	解像度/色数
	Super VGA 800 × 600	[CX] 以外: 800 × 600 / High Color
	(CX)	(16 ビット)
	Fujitsu FMV Embedded LCD	(CX): 1024 × 768 / High Color
		(16 ビット) リフレッシュレート ^{※2}
		(TX) [FL] [SL], FMV-6000CL2, [CLs]
		[CX]: アダプタの既定値
ユニバーサル	[TX] [FL] [SL], FMV-6000CL2, [CX]	
シリアルバス	Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal	
コントローラ	Host Controller - 2442	
	Intel(R) 82801BA/BAM USB Universal	
	Host Controller - 2444	
	USB Root Hub USB Root Hub	
	[CLs]	
	USBルートハブ	
	VIA Tech 3038 PCI to USB Universal Host	
	Controller	

^{%1:1.2}MB のフロッピーディスクをお使いになる場合は、「3 モードフロッピーディスクドライバ」をインストールする必要があります。

^{※2:[}TX]でカスタムメイドオプションの「グラフィックカード変更」を選択している場合は、「最適」になります。

第2章

ソフトウェア

ソフトウェアのインストールについて説明して います。

1	ソフトウェアライブラリ(Windows 98)	60
2	ソフトウェア一覧	61
3	ドライバ	80

1 ソフトウェアライブラリ (Windows 98)

添付ソフトなど新たにソフトウェアをインストールした場合、アプリケーションによっては追加された MFC ライブラリをアップデートする必要があります。

■ 対象機種/ OS

全機種/Windows 98

アップデート方法

使用するソフトウェアすべてをインストール後にアップデートしてください (1 つのソフトウェアをインストールするごとにアップデートする必要はありません)。該当する MFC ライブラリが検出・アップデートされます。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- **2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROMドライブ]:¥os¥libupd¥speu. exe
- **4** 本パソコンを再起動します。

2 ソフトウェア一覧

POINT

- ▶ 一部のソフトウェアの使用方法については、ヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイル をご覧ください。
- ▶ 選択したカスタムメイドオプションによっては、この他にソフトウェアが添付されること もあります。
- ▶ 添付されているソフトウェアは「ドライバーズ CD」、「リカバリ CD-ROM」(Windows XP/2000/Me)または各 OS の CD-ROM(Windows NT/98)などに格納されています。各ソフトウェアの紹介を参照してインストールしてください。

◎:プレインストール(添付あり) ○:プレインストール(添付なし) △:添付のみ -:添付なし

名称	Windows XP	Windows 2000	Windows NT	Windows Me	WIndows 98
Microsoft Windows XP Professional					
(→ P.63)	· ©	_	_	_	_
Microsoft Windows XP Home Edition					
(→ P.63)					
Microsoft Windows 2000 Professional	_	0	_	_	_
(Service Pack2) (→ P.63)		9			
Windows NT Workstation 4.0 (Service	_	_	0	_	_
Pack6a) (→ P.64)			•		
Microsoft Windows Millennium Edition	_	_	_	0	_
4.90.3000 (→ P.65)				0	
Microsoft Windows 98 operating system					
SECOND EDITION 4.10.2222A	_	_	_	_	0
(→ P.65)					
セキュリティロールアップ	_	0	_	_	_
パッケージ (→ P.65)					
セキュリティツールキット (→ P.65)	_		0		_
電源切断ユーティリティ (→ P.67)	_	_	0	_	_
Internet Explorer 5.01 SP2 (→ P.67)	_	0	0	-	0
Internet Explorer 5.5 (→ P.68)	_	_	_	0	_
Internet Explorer 6.0 (→ P.68)	0	_	_	_	_
Microsoft IME スタンダード 2002	0				
(→ P.68)					_
Microsoft IME2000 (→ P.68)		0		0	_
MS-IME97 (→ P.68)	_		0		_
Microsoft IME98 (→ P.69)	_			_	0
DirectX8.1 (→ P.69)	0	0		0	0
Windows Me " $\!$	_			0	_

名称	Windows XP	Windows 2000	Windows NT	Windows Me	WIndows 98
Windows 98 \mathcal{Y} — \mathcal{V} (\rightarrow P.69)	_	_	_	_	©
Windows 環境調査ツール (FM Advisor) (→ P.70)	0	0	0	0	0
Viewpoint Media Player (→ P.70)	0	0	0	0	©
Acrobat Reader (→ P.70)	0	0	0	0	0
3 モードフロッピーディスクド ライバ (→ P.71)	0	0	0	Δ	Δ
光磁気ディスク・ユーティリティ [TX] [FL] [SL] (IDE-RAID モデルを 除く) (→ P.71)	0	0	0	0	0
FMV 診断 (→ P.72)	0	0	0	0	0
FM 一発修正 (→ P.73)	_	_	_	0	0
FM キーガード (→ P.73)	Δ	_	_	_	_
Fast Check Monitoring Utility (IDE-RAID モデルのみ) (→ P.73)	0	0	0	_	_
ソフトウェアライブラリアップデー トプログラム (→ P.74)	_	_	_	_	0
フロッピーディスクドライブクリー ニングユーティリティプログラム (→ P.74)	_	_	_	_	0
RecordNow ^{※ 1} (→ P.74)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
OS 追加プログラム(→ P.74)	0	⊚※ 2	_	⊚* 2	⊚* 2
AntiVirus (→ P.76)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
DeskView (→ P.76)	△※3	Δ	Δ	Δ	Δ
FM-Menu (→ P.77)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
@nifty でインターネット (→ P.77)	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
FMPBTN [SL], FMV-6000CL2, [CLs] [CX] $(\rightarrow P.78)$	_	_	Δ	_	_

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては、『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションのマ ニュアルをご覧ください。 プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください。

※ 1: カスタムメイドオプションで内蔵 CD-R/RW ドライブユニットを選択している場合

※2:修正モジュールの中には、添付のみのものもあります。

※3: Windows XP Home Edition には、添付されていません。

各ソフトウェアの紹介

POINT_

▶ Windows XP では Windows 起動中に「ドライバーズ CD」、「リカバリ CD-ROM」などをセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をクリックしてください。

■ Microsoft Windows XP Professional

□概要

操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft Windows XP Professional ファーストステップガイド』をご覧ください。

□対象機種/OS

全機種/Windows XP Professional

■ Microsoft Windows XP Home Edition

□概要

操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft Windows XP Home Edition ファーストステップガイド』をご覧ください。

□対象機種/ OS

[CLs] / Windows XP Home Edition

■ Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack2)

□概要

「C:¥Winnt」フォルダにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているヘルプか、添付されている『Microsoft Windows 2000 Professional クイックスタートガイド』をご覧ください。

□対象機種/ OS

全機種/Windows 2000

□ Service Pack2 のインストール方法

Windows 2000 Service Pack2 には、Windows 2000 に対する新しい修正、以前にリリースされた Service Pack の修正が含まれています。

インストールの前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

- **2** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 c:\footnote{c:\footnote{ysp\footnote{w}2ksp\footnote{y}2ksp\footnote{y}2.exe}
- 3 「使用許諾」を読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

この後は、メッセージに従ってインストールを完了してください。

POINT_

- ▶ Windows 2000 のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
 - 1. 「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。
 - 2. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

■ Windows NT Workstation 4.0 (Service Pack6a)

□概要

「C:¥Winnt」フォルダにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプ、および添付の『Windows NT 4.0 ファーストステップガイド』をご覧ください。

□対象機種/ OS

全機種/Windows NT

□ Service Pack6a のインストール方法

Windows NT Service Pack6a には、Windows NT に対する新しい修正、以前にリリースされた Service Pack の修正が含まれています。ドライバなどのインストール後や、ネットワークの設定を変更した場合は、Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。 インストールの前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

廖重要

- ▶ Service Pack6a をインストール後、必ず「セキュリティ ロールアップ パッケージ」(→ P.65) をインストールしてください。
- ▶ Internet Explorer 5.01 SP2がすでにインストールされている場合、ServicePack6aをインストールしようとするとエラーが発生します。この場合、一度 Internet Explorer 5.01 SP2 をアンインストールしてから、ServicePack6a をインストールしてください。
 ServicePack6a のインストール後、再度 Internet Explorer 5.01 SP2 をインストールしてください。
- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
 - c:\frac{\pmax}{\pmax}\sp\frac{\pmax}{\pmax}\sp\frac{\pmax}{\pmax}\sigma\frac{\pmax}{\pmax}\square\frac{\pmax}{\pmax}\squar

「Windows NT Service Pack セットアップ」ウィンドウが表示されます。

- **3** 「同意する」をチェックし、「インストール」をクリックします。 メッセージに従ってインストールを続けます。インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。
- **4** 「再起動」をクリックします。

POINT_

- ▶ 上記の手順はご購入時の状態のままを想定しています。Windows NT を再インストールしている場合、『取扱説明書』をご覧ください。
- ▶ Windows のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
 - 1. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
 - 2. 「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。
- ▶ 新しいドライバなどをインストールした後は、Service Pack6a を再度インストールしてください。

■ Microsoft Windows Millennium Edition 4.90.3000

□概要

操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows Me

■ Microsoft Windows 98 operating system SECOND EDITION 4.10.2222A

□概要

操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプか、添付されている『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』をご覧ください。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows 98

■ セキュリティ ロールアップ パッケージ

□概要

Windows 2000 用セキュリティの修正が含まれています。本パッケージを利用することで、容易にセキュリティ修正プログラムを導入することができます。また本パッケージを適用しても、コンピュータの暗号化レベルは変更されません。

□対象機種/ OS

全機種/Windows 2000

■ セキュリティツールキット

□概要

Windows NT Service Pack6a 以降にリリースされた Windows NT 用セキュリティの修正が含まれています。本パッケージを利用することで、容易にセキュリティ修正プログラムを導入することができます。また本セキュリティツールキットを導入しても、コンピュータの暗号レベルは変更されません。

□対象機種/ OS

全機種/Windows NT

□インストール方法

炒重要

- ▶ 「セキュリティツールキット」をインストールする前に、「Windows NT Service Pack6a」 および「Internet Explorer 5.01 SP2」がインストールされている必要があります。
- ▶ 「セキュリティツールキット」のインストール後、「3 モードフロッピーディスクドライバ」 をインストールしてください。

インストール前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** ドライバーズ CD をセットします。
- **2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、それぞれ【Enter】キーをそれぞれ押します。 [CD-ROMドライブ]: Yos ¥sectool ¥security rollup package ¥q299444i. exe しばらくすると、再起動メッセージが表示されます。
- **4** 「OK」をクリックします。 本パソコンが再起動します。
- **5** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- ⑥ 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **7** 「名前」に次のように入力し、【Enter】キーを押します。 [CD-ROMドライブ]:\fos\footnote{\text{sectool}\footnote{\text{hotfixes}\footnote{\text{y}}}q305929i.exe しばらくすると、再起動メッセージが表示されます。
- **8**「OK」をクリックします。 本パソコンが再起動します。
- 9 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- **10** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **11** 「名前」に次のように入力し、【Enter】キーを押します。 [CD-ROMドライブ]:\#os\#sectool\#hotfixes\#q307866i.exe
- 12 本パソコンを再起動します。
- **13** 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- **14** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

- **15** 「名前」に次のように入力し、【Enter】キーを押します。 [CD-ROMドライブ]:\#\so\#\sectool\#\windows media player\#\wm308567.exe 「Windows Media Player Update」ウィンドウが表示されます。
- **16** 「はい」をクリックします。 「使用許諾契約」が表示されます。
- **17** 「はい」をクリックします。 「Windows Media コンポーネントのセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- **18** 「次へ」を3回クリックします。 「セットアップは完了しました。」と表示されます。
- **19** 「完了」をクリックします。
- **20** 本パソコンを再起動します。
- 21 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
- 22 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **23** 「名前」に次のように入力し、【Enter】キーを押します。 「CD-ROMドライブ]:\#os\#sectoo|\#hotfixes\#a307866i.exe
- **24** 本パソコンを再起動します。

■ 電源切断ユーティリティ

□概要

Windows NT シャットダウン時に自動的にパソコン本体の電源を切るためのコンポーネントです。

□対象機種/OS

全機種/Windows NT

□インストール方法

Windows NT の再インストール時に「電源切断ユーティリティ (HAL)」をインストールします。インストール方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

■ Internet Explorer 5.01 SP2

□概要

WWW ブラウザです。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows 2000/NT/98

□インストール方法

Windows 2000/NT/98では、ご購入時にはInternet Explorer 5.01 SP2がインストールされています。 Windows NT/98で再インストールを行う場合は、「ドライバーズCD」の「¥Os¥Ie501¥Ie5setup.exe」を実行してください。

POINT

▶ Windows NTで Internet Explorer のインストールを行う場合は、Windows NT Service Pack6a のインストール後に行ってください。

■ Internet Explorer 5.5

□概要

WWW ブラウザです。

□対象機種/ OS

全機種/Windows Me

■ Internet Explorer 6.0

□概要

WWW ブラウザです。

□対象機種/ OS

全機種/Windows XP

■ Microsoft IME スタンダード 2002

□概要

日本語入力変換ユーティリティです。

□対象機種/ OS

全機種/Windows XP

■ Microsoft IME2000

□概要

日本語入力変換ユーティリティです。

□対象機種/ OS

全機種/Windows 2000/Me

■ MS-IME97

□概要

日本語入力変換ユーティリティです。

□対象機種/ OS

全機種/Windows NT

■ Microsoft IME98

□概要

日本語入力変換ユーティリティです。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows 98

■ DirectX8.1

□概要

マルチメディアの機能を拡張します。DirectX8.1 に対応したソフトウェアの高速表示/高品位音声再生を実現します。

□対象機種/ OS

全機種/Windows XP/2000/Me/98

□インストール方法

Windows 98 の再インストール時に「DirectX8.1」をインストールします。インストール方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

■ Windows Me ツール

□ 概要

Windows Me に添付されているツール類が C:\{CDEXTRA.JPN に格納されています。使用方法 については、フォルダ内の説明ファイルなどをご覧ください。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows Me

■ Windows 98 ツール

□概要

Windows 98 に添付されているツール類がご購入時の状態では C:\text{YTools} に格納されています。 使用方法については、フォルダ内の説明ファイルなどをご覧ください。

Windows 98 を再インストールしている場合、「Windows 98 Operating System」の CD-ROM の「tools」フォルダよりお使いください。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows 98

■ Windows 環境調査ツール(FM Advisor)

□概要

本パソコンの使用環境を調査します。また、動作環境取得ツールとしても使用できます。

□対象機種/ OS

全機種/全OS

□インストール方法

インストールの前に Windows XP/2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROMドライブ]: ¥advisor¥setup. exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■ Viewpoint Media Player

□概要

富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (http://www.fmworld.net/) に用意されている、Web 3D カタログを表示するためのプレーヤです。

□対象機種/ OS

全機種/全 OS

□インストール方法

ご購入時には Viewpoint Media Player がインストールされています。 Windows NT/98 で再インストールを行う場合は、「ドライバーズ CD」内の「¥Vpoint¥VMPFullInstall 3 0 8 201.exe」を実行してください。

■ Acrobat Reader

□概要

PDF (Portable Document Format) 書類を表示、閲覧、印刷できます。

□対象機種/ OS

全機種/全OS

□インストール方法

インストールの前に Windows XP/2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

POINT_

- ▶ セットアップ中、「読み取り専用ファイルの検出」ウィンドウが表示された場合、「はい」をクリックして操作を進めてください。
- ▶ インストール後、再起動時にメッセージが表示される場合があります。動作上問題ありませんので、そのままお使いください。
- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROMドライブ]:¥acrobat¥ar505jpn. exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■3モードフロッピーディスクドライバ

□ 概要

次の DOS/V フォーマット済みのフロッピーディスクを読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用のドライバです。

- Windows XP/2000/NT の場合 1.44MB、1.23MB、1.2MB、720KB、640KB のフロッピーディスク
- Windows Me/98 の場合 1.44MB、1.2MB、720KB のフロッピーディスク

□対象機種/ OS

全機種/全OS

□インストール方法

Windows Me/98 では、ドライバのインストールが必要です。インストール方法については、「ドライバーズ CD」内の「\{Other\{CD}\} amode\{Me98\{Me98\{README.TXT}\} をご覧ください。

また、Windows NT では、「3 モードフロッピーディスクドライバ」をインストールする前に、「セキュリティツールキット」(\rightarrow P.65) をインストールしてください。

■ 光磁気ディスク・ユーティリティ

□概要

光磁気ディスクのフォーマット、フォーマット/イジェクト権限の変更、ドライブ割り当てを 行うユーティリティです。

□対象機種/ OS

- プレインストール
 - [TX] [FL] [SL] (IDE-RAID モデルを除く) / Windows XP/2000/NT/Me/98
- 添付
 - [CL] [CLs] [CX] および IDE-RAID モデル/ Windows NT

□インストール方法

インストールの前に Windows 2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
 - Windows XP の場合
 「CD-ROMドライブ]:¥other¥mosup¥mosupple.msi
 - Windows 2000 の場合 「CD-ROMドライブ]: ¥other¥mo¥2k¥moformat. msi
 - Windows NT の場合 [CD-ROMドライブ]:¥other¥mo¥nt¥setup.exe
 - Windows Me/98 の場合 [CD-ROMドライブ]:¥other¥mo¥me98¥setup. exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■ FMV 診断

□概要

ハードウェアの故障箇所を的確に診断します。

□対象機種/ OS

全機種/全OS

□インストール方法

インストールの前に Windows XP/2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- **2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 「CD-ROMドライブ]: ¥other¥shindan¥fmv810¥disk1¥setup. exe

この後は、メッセージに従って操作します。

POINT

▶ インストール後、「スタート」メニューに「FMV 診断」が登録されない場合があります。 この場合は、「C:¥Fjuty¥Fmvdiag¥Fmvdiag.exe」を直接起動するか、ショートカットを作成してください。

■ FM 一発修正

□概要

Windows Me/98 の文字やアイコン表示の異常を修正します。

□対象機種/ OS

全機種/ Windows Me/98

□インストール方法

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROMドライブ]:¥fmcure¥setup. exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■ FM キーガード

□概要

特定のキー入力を抑止する機能と、プログラムメニューに表示するメニューの抑止機能を追加するアプリケーションです。

□対象機種/OS

全機種/ Windows XP

□インストール方法

インストール方法については、「ドライバーズ CD」内の「¥Fmkguard¥README.TXT」をご覧ください。

■ Fast Check Monitoring Utility

□概要

Windows XP/2000/NT において、ディスクアレイやハードディスク情報の表示、一貫性チェックなどの RAID の管理を行うためのユーティリティです。

□対象機種/ OS

IDE-RAID モデル/ Windows XP/2000/NT

□インストール方法

インストールの前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:\#other\#raiduty\#setup.exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■ ソフトウェアライブラリアップデートプログラム

□概要

ソフトウェアが使用している MFC (Microsoft Foundation Class) ライブラリのアップデートプログラムです。ソフトウェアを追加インストールした場合は、アップデートプログラムを実行する必要があります (\rightarrow P.60)。

□対象機種/ OS

全機種/Windows 98

■ フロッピーディスクドライブクリーニングユーティリティプログラム

□ 概要

クリーニングフロッピー(別売)を使い、フロッピーディスクドライブのヘッド(データを読み書きする部分)を清掃します。使用方法については「ハードウェア」-「フロッピーディスクドライブのお手入れ」をご覧ください。

□対象機種/ OS

全機種/Windows 98

■ RecordNow

□概要

データ CD や音楽 CD を作成するためのアプリケーションです。使用方法はアプリケーション内のヘルプをご覧ください。

□対象機種/ OS

カスタムメイドオプションで、内蔵 CD-R/RW ドライブユニットが搭載されている機種/全OS

□インストール方法

インストール方法については、添付の「RecordNow」CD-ROM 内の PDF マニュアルをご覧ください。

■ OS 追加プログラム

□ 概要

次の修正プログラムがインストールされています。

- Windows XP
 - ・Universal PnP に関するセキュリティの問題に対応

- Windows 2000
 - · Service Pack2 以降に提供されたセキュリティの問題を解決するモジュールの適応
 - ・セキュリティ ロールアップ パッケージ
- Windows NT
 - · Service Pack6a 以降に提供されたセキュリティの問題を解決するモジュールの適応
- Windows Me
 - ・ 修正モジュール

Windows 終了時に、キャッシュに保存されているデータがハードディスクに書き込まれずにエラーとなり、スキャンディスクが起動する問題を修正するプログラムです。

その他の修正モジュール

上記の他に、次の問題を修正するプログラムをインストールしています。

- ・Microsoft IME2000 を使用した際にフォルダの移動が正しく行われない問題
- ・ 復元ポイントの修正モジュール
- ・Universal PnP に関するセキュリティの問題に対応

Windows 98

- ・シャットダウン修正モジュール ネットワークドライブを複数割り当てているときに、Windows が終了しない問題を修正 します。
- ShutdownSupplement

Windows 終了時におけるいくつかの問題を修正したプログラムです。

- ・URL Security アップデートプログラム 悪質な WEB サイトや E-mail を利用してシステムを傷つけクラッシュさせたり不明なプログラムが実行されたりすることを防ぐプログラムです。
- その他の修正モジュール上記の他に、次の問題を修正するプログラムをインストールしています。
 - ・WDM オーディオドライバの問題
 - ・レジューム後、PC カードが誤動作する問題
 - ・ドッキングステーション付パソコンで、ドッキングステーションを使用している際、レ ジューム時に停止する問題
 - ・ネットワーク運用時、再起動/終了の際に本パソコンが停止する問題
 - ・電源状態を正しく取得できない問題
 - ・32GB を超えたハードディスクを認識しない問題
 - ・Windows 終了時に、キャッシュに保存されているデータがハードディスクに書き込まれずにエラーとなり、スキャンディスクが起動する問題
 - ・Fdisk が 64GB 以上のハードディスクを認識しない問題

□対象機種/OS

全機種/全OS

廖重要

▶ Windows XP/2000/NT をお使いの場合、「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」で、「Hotfix」と記載されたモジュールを削除しないでください。

■ AntiVirus

□概要

コンピュータウイルスを検出・駆除します (\rightarrow 「トラブルシューティング」 - 「コンピュータウイルス対策」 (\rightarrow P.85))。

□対象機種/ OS

全機種/全OS

□インストール方法

インストールの前に Windows XP/2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROMドライブ]:\u00e4nav\u00e4setup.exe

インストールが始まります。メッセージに従って操作してください。 Windows 2000/NT では次の POINT を参照してください。

POINT_

▶ 「サービスアカウント情報」ウィンドウでは、管理者権限を持った「ユーザー名」とその「パスワード」を入力してください。

■ DeskView

□概要

パソコンのメモリ、ハードディスクなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常を参照できます。また、パソコンの電源を制御できます。

□対象機種/ OS

全機種/Windows XP Professional/2000/NT/Me/98

□インストール方法

沙 重 要

- ▶ FMV-7000CL2では、DeskViewをインストールする前に、次の手順でSMBUSドライバをインストールしてください。
 - 1. 「リカバリ CD-ROM2」をセットします。
 - 2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
 - 3.「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 [CD-ROM ドライブ]:¥deskview¥option¥smbus2¥Setup.exe インストールが始まります。メッセージに従って操作してください。インスト

インストールが始まります。メッセージに従って操作してください。インストールが終了したら、続けて DeskView のインストールを行ってください。

インストール手順については、次の CD-ROM 内の ¥Deskview¥Read1st.txt をご覧ください。

• Windows XP Professional/2000: リカバリ CD-ROM2

Windows NT/98: ドライバーズ CDWindows Me: リカバリ CD-ROM

■ FM-Menu

□概要

ボタン式メニューから簡単にアプリケーションを起動できます。また、特定キーの入力や Windows 機能を制限します。

□対象機種/ OS

全機種/全 OS

□インストール方法

インストールの前に Windows XP/2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
 - Windows XP の場合 [CD-ROMドライブ]:¥fmmenu¥xp¥setup. exe
 - Windows 2000 の場合 [CD-ROMドライブ]:¥fmmenu¥2k¥setup. exe
 - Windows NT/Me/98 の場合
 [CD-ROMドライブ]:¥fmmenu¥ntme98¥setupfm-menu. exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■ @nifty でインターネット

□概要

インターネットのプロバイダである @nifty に入会できます。

□対象機種/ OS

全機種/全 OS

□インストール方法

インストールの前に Windows XP/2000/NT は管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥nifty¥setup.exe

この後は、メッセージに従って操作します。

廖重要

▶ Windows NTで「セットアップ完了」ウィンドウが表示された場合は、「いいえ、後でコン ピュータを再起動します。」をクリックし、インストールを終了させてから、「スタート」 ボタン→「シャットダウン」→「コンピュータを再起動する」の順にクリックし、本パソ コンを再起動させてください。

■ FMPBTN

□概要

Windows NT において、パソコンの電源スイッチを押すだけで、自動的にシャットダウンを行い電源を切れるようになります。

□対象機種/ OS

[SL] [CL] [CLs] / Windows NT

□インストール方法

インストール手順については、「ドライバーズ CD」内の「\{Other\{Fmpbtn\{Fmpbtn\{Fmpbtn\,txt\} をご覧ください。

アンインストール方法

■ 留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に注意してください。

- アプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない

アンインストール時に次のようなメッセージが表示されることがあります。

「この DLL は複数のアプリケーションで使用されている可能性があります。削除を行いますか」

この DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

■ アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- ●「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する 「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してア プリケーションを削除できます。
- ファイルを削除する (Windows Me/98) アンインストール機能が用意されていない次の表のアプリケーションについては、ファイルまたはフォルダを削除してください。

名称	対象 OS	削除するファイル名・フォルダ名
Windows Me ツール	Windows Me	C:¥CDEXTRA.JPN
Windows 98 ツール	Windows 98	C:\text{\text{Tools}}

Windows Me ツールは一度削除すると、リカバリを行わないと復旧できません。Windows 98 ツールを削除した場合、「Windows 98 Operating System」の CD-ROM 内の「tools」フォルダよりお使いください。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

3 ドライバ

廖重要

▶ 添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本書を参照し、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しなくなり、リカバリが必要となることがあります。

リカバリ後、ドライバを再インストールする必要はありません。なんらかの理由でドライバの 再インストールが必要な場合のみ、必要なドライバを再インストールしてください。

Windows NT/98 を再インストールした場合は、必要に応じてドライバをインストールしてください。

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。 インストール手順は、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォル ダ名称を確認し、フォルダ内の「Install.txt」または「Readme.txt」をご覧ください。

廖重要

▶ すでにインストールされているドライバについては、特に問題がない限りインストールしないでください。

□ Windows XP の留意事項

- Windows XP でカスタムメイドオプションの SCSI カードを選択している場合は、Windows 標準のドライバをお使いください。
- LAN ドライバのインストール中、複数のドライバ名称が表示される場合があります。その場合、何も変更せずに「OK」をクリックしてください。
- [TX] に LAN ドライバを再インストールする場合、「[TX] (Windows XP モデル) について」 (→ P.103) をご覧ください。

□ Windows NT の留意事項

- Windows NT では一部のドライバの再インストールは「ドライバのバックアップ」(→ P.81) で作成した「バックアップディスク」を使って行います。
- インストール時に「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求された場合は、「c:\{\forall support\{\forall i 386}\] と指定してください。
- ディスプレイドライバ、サウンドドライバをインストールする前に、必ず Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。
- 必要なドライバ、アプリケーションのインストール後や、ネットワークの設定を変更した場合は、必ず「Internet Explorer 5.01 SP2」をアンインストールした後、「Windows NT Service Pack6a」、「Internet Explorer 5.01 SP2」、「セキュリティツールキット」、および「3 モードフロッピーディスクドライバ」の順にインストールしてください。

ドライバのバックアップ

Windows XP/2000/NT では、本パソコンに添付の「ドライバーズ CD」から、「バックアップディスク」を作成します。

「バックアップディスク」は、ドライバのインストールに使用します。

■ バックアップの内容

ソフトウェア名称	機種	入力する フォルダ名	Windows XP	Windows 2000	Windows NT
電源切断ユーティリティ (HAL)	(TX) (SL), FMV- 6000CL2, (CLs) (CX)		_	_	0
Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R)4.0 LAN Driver V6.00.49	(TX) (FL) (SL), FMV-6000CL2, (CX)	¥lan¥i8255x	_	_	0
Realtek RTL8139 PCI Fast Ethernet Windows NT(R)4.0 LAN Driver V3.91A	(CLs)	¥lan¥realtek	_	_	0
Promise FastTrak100TX2 IDE RAID Driver	IDE-RAIDモデル	¥other¥raiddrv	0	0	0

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD
- 1.44MB 2HD フロッピーディスク 「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V6.00.49」には 2 枚、 その他のドライバには 1 枚必要です。
- フロッピーディスクのラベル(必要な枚数を購入してください)

■ バックアップ方法

- **1** 「ドライバーズ CD」とフロッピーディスクをセットします。
- 2 次の操作を行います。
 - Windows XP の場合
 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

 - Windows NT の場合 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。 「コマンドプロンプト」 ウィンドウが表示されます。
- **3** 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

format a:

- **4** 【Enter】キーを押します。 フォーマットが終了すると、ラベルの入力メッセージが表示されます。
- **5** 【Enter】キーを押します。
- **6** 【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 7 コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。
 - Windows XP の場合 cd /d [CD-ROMドライブ]: XXXXXX¥xp
 - Windows 2000 の場合 cd /d [CD-ROMドライブ]: XXXXXX¥2k
 - Windows NT の場合 cd /d [CD-ROMドライブ]: XXXXXX¥nt

xxxxxx には、「バックアップの内容」($\rightarrow P.81$) の表のフォルダ名を入力します。

POINT

- ▶ 「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V6.00.49」をバックアップする場合は、フロッピーディスクを 2 枚使用します。コマンドプロンプトから次のように入力し、【Enter】キーを押してください。"XX"には"xp"、"2k"、"nt"のいずれかを入力してください。
 - ・フロッピーディスク1枚目 cd /d [CD-ROM ドライブ]:¥lan¥i8255x¥XX¥disk1
 - ・フロッピーディスク2枚目 cd /d [CD-ROM ドライブ]:\#lan\#i8255x\#XX\#disk2
- **8** コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。 xcopy *.* a: /s /e /h
- ∮ 作成したバックアップディスクに、ソフトウェア名称を記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。

ソフトウェア名称は「バックアップの内容」 (\rightarrow P.81) の表で作成したものを記入してください。

第3章

トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことが あったときの対処方法について説明していま す。

1	トラブルに備えて	84
2	トラブル発生時の基本操作	87
3	起動・終了時のトラブル	95
4	OS・アプリケーション関連のトラブル	98
5	ハードウェア関連のトラブル	101
6	リカバリ/再インストール	115
7	それでも解決できないときは	116

1 トラブルに備えて

ここでは、トラブルを未然に防ぐために注意すべき点や、もしものときに備えて事前に準備すべき点について、説明します。

テレビ/ラジオなどの受信障害防止について

本パソコンは、テレビやラジオなどの受信障害を防止する VCCI の基準に適合しています。しかし、設置場所によっては、本パソコンの近くにあるラジオやテレビなどに受信障害を与える場合があります。このような現象が生じても、本パソコンの故障ではありません。テレビやラジオなどの受信障害を防止するために、次のような点にご注意ください。

■ 本パソコンの注意事項

- 本体カバーを外した状態でお使いにならないでください。
- 周辺機器と接続するケーブルは、指定のケーブルを使い、それ以外のケーブルは使わないでください。
- ケーブルを接続する場合は、コネクタが確実に固定されていることを確認してください。また、ネジなどはしっかり締めてください。
- 本パソコンの電源プラグは、テレビやラジオなどを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

■ テレビやラジオなどの注意事項

- テレビやラジオなどを、本パソコンから遠ざけて設置してください。
- テレビやラジオなどのアンテナの方向や位置を変更して、受信障害を生じない方向と位置 を探してください。
- テレビやラジオなどのアンテナ線の配線ルートを本パソコンから遠ざけてください。
- アンテナ線は同軸ケーブルをお使いください。

本パソコンや周辺機器などが、テレビやラジオなどの受信に影響を与えているかどうかは、本パソコンや周辺機器など全体の電源を切ることで確認できます。

テレビやラジオなどに受信障害が生じている場合は、上記の項目を再点検してください。 それでも改善されない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入 元にご連絡ください。

Windows のセットアップ後に行ってください

Windows のセットアップが終了したら、リカバリや再インストール (→『取扱説明書』) に備 えてディスク作成やバックアップなどを行ってください。

- 「機能」 「Windows 起動ディスクを作成する」(→ P.14)
- ●「機能」 「セットアップ用フロッピーディスクを用意する」 $(\rightarrow P.15)$
- ●「機能」 「リカバリ CD-ROM 起動ディスクを準備する」(→ P.16)
- \bullet 「ソフトウェア」 − 「ドライバのバックアップ」 (\rightarrow P.81)

データのバックアップ

ハードディスクに障害が発生した場合などは、データが失われる場合があります。必要なデータはフロッピーディスクや MO などの別媒体や、バックアップ装置を備えたファイルサーバーなどに定期的にバックアップしてください。

コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの1つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる(感染する)と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

■ AntiVirus

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、AntiVirus が添付されています。メールに添付されたファイルや入手したフロッピーディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえでお使いください。

AntiVirus はご購入時にはインストールされていません。必要に応じて、「ソフトウェア」 - 「ソフトウェア一覧」 (\rightarrow P.61) をご覧になり、インストールしてください。また、AntiVirus の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

□留意事項

- ●「AntiVirus」を起動していると、アプリケーションが正常にインストールされなかったり、 ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合 は次のいずれかの方法で「AntiVirus」を使用不可にしてください。
 - ・Windows XP では、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Norton AntiVirus」→「Norton AntiVirus 2002」の順にクリックします。

Windows 2000/NT/Me/98 では、「スタート」ボタン→「プログラム」 → 「Norton AntiVirus」 → 「Norton AntiVirus 2002」の順にクリックします。

「Norton AntiVirus」 ウィンドウで「オプション」をクリックし、「Auto-Protect を有効にする」のチェックを外して、「OK」をクリックします。

- ・「Norton AntiVirus」のアイコンがタスクバーに表示されている場合は、そのアイコンを右 クリックし、「終了」をクリックします。
- Norton AntiVirus でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにある プログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコン ピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- Norton AntiVirus は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイルと、検査プログラム(スキャンエンジン)を使用しています。定期的に更新してください。 スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の Norton AntiVirus をご購入ください。

■ コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

%重要

▶ コンピュータウイルスに感染したことにより本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。

コンピュータウイルスの届け出制度は、「コンピュータウイルス対策基準」(平成 12 年 12 月 28 日付通商産業省告示第 951 号)の規定に基づいています。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会 (IPA) セキュリティセンターに届け出ることとされています (http://www.ipa.go.jp/security/)。

ドキュメントの確認

周辺機器の取り付けやアプリケーションのインストールを行う場合は、製品に添付されているドキュメントを読み、次の点を確認してください。

- ハードウェア/ソフトウェア要件 使用したい周辺機器やアプリケーションが本パソコンのハードウェア構成やOSで使用でき るか確認します。
- 取り付け時やインストール時に注意すべき点 特に readme.txt や install.txt などのテキストファイルがある場合は、マニュアルに記述でき なかった重要な情報が記載されている場合があります。忘れずに目を通してください。 また、製品添付のドキュメントだけではなく、Web 上の情報もあわせて確認してください。ベ ンダーの Web サイトからは、次のような情報やプログラムを得ることができます。
- 製品出荷後に判明した問題などの最新情報
- 問題が解決されたドライバやアプリケーションの修正モジュール

弊社の富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (http://www.fmworld.net/) でも、本パソコンに関連したサポート情報やドライバを提供しておりますので、ご覧ください。

2 トラブル発生時の基本操作

ここでは、トラブル発生時にまず行うべき操作を説明します。

本パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが 発生したら、まず本パソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか?またゆるんだりしていませんか?
- ●電源コンセント自体に問題はありませんか?他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- OA タップを使用している場合、OA タップ自体に問題はありませんか?他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源スイッチはすべて入っていますか?
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器(サーバー本体やハブなど)の接続や電源も確認してください。

以前の状態に戻す

周辺機器の取り付け、アプリケーションのインストールを行った直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

- 周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- アプリケーションをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、readme.txt などの補足説明書、Web 上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください $(\rightarrow P.86)$ 。発生したトラブルに該当する記述があれば、ドキュメントの指示に従ってください。

■ 前回起動時の構成に戻す(Windows XP/2000/NT)

問題が発生した周辺機器を取り外したにもかかわらず Windows が起動しない場合は、前回起動時の構成に戻してみてください。

□ Windows XP の場合

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- 2 「FUJITSU」ロゴが消えたら、【F8】キーを押します。 【F8】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されます。

3 「前回正常起動時の構成(正しく動作した最新の設定)」を選択し、【Enter】キーを押します。

画面の指示に従って操作します。

□ Windows 2000 の場合

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- **2** 「Windows を起動しています …」と表示されたら、【F8】キーを押します。 【F8】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してく ださい。

「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。

3 「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】キーを押します。 画面の指示に従って操作します。

□ Windows NT の場合

- **1** 本パソコンの電源を入れます。
- **2** 「オペレーティングシステムの選択」で「Windows NT Workstation Version 4.00」を選択し、【Enter】キーを押します。
- **3** 「OS Loader V4.01」と表示されたら、【Space】キーを押します。「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」が表示されます。 画面の指示に従って操作します。

Safe モード/ VGA モードで起動する

Windows が起動しない場合、Safe モード (Windows XP/2000/Me/98) または VGA モード (Windows NT) で起動できるか確認してください。 起動方法は、次のとおりです。

■ Windows XP の場合

- **1** 本パソコンの電源を入れます。
- **2** 「FUJITSU」ロゴが消えたら、【F8】キーを押します。 【F8】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されます。

3 「セーフモード」を選択し、【Enter】キーを押します。 「オペレーティングシステムの選択」が表示されます。 **4** 「Microsoft Windows XP」が選択されていることを確認し、【Enter】キーを押します。

「Windows はセーフモードで実行されています。」と表示されます。

5 「はい」をクリックします。

必要に応じて、「ソフトウェア」 — 「ドライバ」 (\rightarrow P.80) をご覧になり、問題があるドライバを再インストールしてください。

■ Windows 2000 の場合

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- **2** 「Windows を起動しています…」と表示されたら、【F8】キーを押します。 【F8】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してく ださい。

「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。

- **3** 「セーフモード」を選択し、【Enter】キーを押します。
- **4 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。** 「Windows はセーフモードで実行されています。」と表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。 必要に応じて、「ソフトウェア」 – 「ドライバ」(→ P.80) をご覧になり、問題があるドライバを再インストールしてください。

■ Windows NT の場合

- **1** 本パソコンの電源を入れます。
- **2** 「オペレーティングシステムの選択」で「Windows NT Workstation Version 4.00[VGA mode]」を選択し、【Enter】キーを押します。
- **3** 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。 「無効なディスプレイ設定」ウィンドウが表示されます。
- **4** 「OK」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 5 「キャンセル」をクリックします。 必要に応じて、「ソフトウェア」 - 「ドライバ」(→ P.80) をご覧になり、問題があるドライバを再インストールしてください。

■ Windows Me の場合

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- 2 「FUJITSU」ロゴが消えたら、【Ctrl】キーを押します。

【Ctrl】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してく

「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されます。

3 「3. Safe mode」を選択し、【Enter】キーを押します。

「ヘルプとサポート」の画面が表示されます。

画面の指示に従って問題を解決してください。また、必要に応じて、「ソフトウェア」 -「ドライバ」 $(\rightarrow P.80)$ をご覧になり、問題があるドライバを再インストールしてく ださい。

■ Windows 98 の場合

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- **2** 「FUJITSU」ロゴが消えたら、【F8】キーを押します。

【F8】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してく ださい。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

- **3** 「3. Safe mode」を選択し、【Enter】キーを押します。
 - 「キーボードのタイプを判定します.」と表示されます。
- **4** 【半角/全角】キーを押します。 しばらくすると、「デスクトップ」ウィンドウが表示されます。
- **5** 「OK」をクリックします。

必要に応じて、「ソフトウェア」 – 「ドライバ」 $(\rightarrow P.80)$ をご覧になり、問題があるド ライバを再インストールしてください。

ハードウェアの競合を確認する

周辺機器を正しく取り付けたにもかかわらず動作しない場合、ハードウェア(IRO)の競合が 起こっていないか確認してください。

確認方法は次のとおりです。

■ Windows XP/2000/Me/98 の場合

- 1 次の操作を行います。
 - Windows XP の場合

「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」アイコンを右クリックして 「プロパティ」をクリックします。

● Windows 2000/Me/98 の場合

「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 次の操作を行います。

- Windows XP/2000 の場合
 - 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
- Windows Me/98 の場合「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- **3** 競合しているデバイスを確認します。

競合しているデバイス名にはエクスクラメーションマーク(!)が表示されています。 または、×印が表示されている場合もあります。

4 競合しているデバイスがある場合、IRQの変更を行ってください。

変更方法については、「スタート」メニューに登録されているヘルプで調べることができます。

また、デバイスに添付されているマニュアルもあわせてご覧ください。

■ Windows NT の場合

- **1** 「スタート」ボタン→「管理ツール(共通)」→「Windows NT 診断プログラム」 の順にクリックします。
- **2** 「リソース」タブをクリックし、競合しているデバイスを確認します。
- **3** 競合しているデバイスがある場合、IRQの変更を行ってください。 変更方法については、デバイスに添付されているマニュアルをご覧ください。

バックアップを行う

ハードディスクの障害などで本パソコンの動作が不安定になった場合は、必要なデータをただ ちにバックアップしてください。

メッセージなどが表示されたらメモしておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルのエラーメッセージ集などで該当する障害を検索する際や、お問い合わせの際に役立ちます。

診断/修正プログラムを使用する

本パソコンでは、次のパソコン診断/修正プログラムを用意しています。

- Windows 環境調査ツール(FM Advisor)
- FMV 診断
- OT-PC/U
- FM 一発修正 (Windows Me/98)

■ Windows 環境調査ツール(FM Advisor)

FM Advisor で使用環境を調査すると、問題解決のヒントを得ることができます。

1 次の操作を行います。

● Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」 → 「FM Advisor」 → 「FM Advisor」の順にクリックします。

● Windows 2000/NT/Me/98 の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」 → 「FM Advisor」 → 「FM Advisor」 の順にクリックします。

調査結果が表示されます。

■ FMV 診断

FMV 診断でハードウェアの障害箇所を診断できます。

POINT_

- ▶ 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- ▶ スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- ▶ フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。
- ▶ CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。
- ▶ ネットワーク機能の診断を行う場合は、あらかじめ固定 IP を設定しておいてください。

1 次の操作を行います。

● Windows XP の場合

「スタート」ボタン \rightarrow 「すべてのプログラム」 \rightarrow 「FMV 診断」の順にクリックします。

● Windows 2000/NT/Me/98 の場合

「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。

この後はメッセージに従って操作してください。

■ QT-PC/U

Windows が起動しないために FMV 診断が使用できない場合、「ドライバーズ CD」から起動できる QT-PC/U を使用することで、ハードウェアの障害箇所を診断できます。

診断後にエラーコードが表示された場合は、メモしておき、「富士通パーソナル製品に関する お問合せ窓口」にお問い合わせの際にお知らせください。

診断時間は通常 $5 \sim 10$ 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

POINT_

- ▶ QT-PC/U は、内蔵 CD-ROM ドライブから実行できます。外付け CD-ROM ドライブからは、 実行できません。
- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。

POINT

- ▶ Windows XP で「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。
- 2 本パソコンの電源を一度切り、再び電源を入れます。
- **3** 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。 【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

メニューが表示されます。

4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

自動的に診断が開始されます。診断は6項目について行われ、各項目の診断結果が画面の「STATUS」の部分に表示されます。

- ・診断でエラーが発生した場合は、「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。
 - お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。
- ・診断でエラーが発生しなかった場合は、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。
- 5 診断が終了し、画面の「Message Display」部に次のように表示されたら、CD-ROM を取り出します。

Eject CD-ROM.

Press Ctrl + ALT + DEL for power off

- **6** 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
- 7 次のように表示されたら、【Enter】キーを押します。

[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?

約5秒後に電源が切れます。

ただし、機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切れない場合があります。 Please power off manually

この場合は、パソコン本体の電源を切ってください。

■ FM 一発修正 (Windows Me/98)

FM 一発修正は、次のトラブルに適用できます。

- 画面の文字やウィンドウのボタンが正しく表示されない
- フォントがインストールできない
- ネットワークプロトコルが追加できない
 - **1** すべてのアプリケーションを終了します。

- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- **3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。 c:\fjuty\fmcure\fmcure.exe

POINT

▶ Windows 98 を再インストールしている場合、「FM 一発修正」を再インストール (→ P.73) してからお使いください。

3 起動・終了時のトラブル

□ビープ音が鳴った

電源を入れた後の POST (自己診断) 時に、ビープ音が鳴る場合があります。ビープ音が鳴る 原因と対処方法は、次のとおりです。

POINT

- ▶ ビープ音によるエラー通知は、「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッ」「ピッピッ」のように、 1 回または連続したビープ音の組み合わせにより行われます。ここではビープ音の回数の 組み合わせを、「1-2-2-3」のように表記しています。
- ▶ 下表の組み合わせ以外の鳴り方をした場合は、ハードウェアに重大な障害が発生している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
- ▶ ディスプレイカード上のROMでエラーが発生した場合やメモリテストエラーの場合は、画面が表示されません。

ビープ音の回数	原因と対処方法
1-2(1回目のビー プ音は「ピーッ」 と長めに鳴りま す)	PCI デバイス上の ROM でエラーが発生しています。 ・オプションの PCI カードを取り付けている場合は、正しく取り付けてあるか確認してください。正しく取り付けてもビープ音が鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。市販の PCI カードの場合は、製造元・販売元にご確認ください。 ・[TX] [FL] の場合、ディスプレイカードが正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けてもビープ音が鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。 ・PCI カードを取り付けていないにもかかわらず、ビープ音が鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
1-1-1-1 1-3-3-1 1-3-3-2 1-3-4-1 1-3-4-3 1-4-1-1	メモリのテストエラーです。 メモリが正しく取り付けられていないか、本パソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。 メモリが正しく取り付けてあるか確認してください。正しく取り付けてもビープ音が鳴る場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。市販のメモリを増設している場合は、製造元・販売元にご確認ください。

□メッセージが表示された

電源を入れた後の POST (自己診断) 時に、画面にメッセージが表示される場合があります。 メッセージ内容と意味については、「BIOS」 - 「BIOS が表示するメッセージー覧」をご覧く ださい。

□電源が入らない

■電源ケーブルは接続されていますか? 接続を確認してください。

□画面に何も表示されない

- パソコン本体の電源は入っていますか?
- ディスプレイに関して次の項目を確認してください([CX] 除く)。
 - ・電源スイッチは入っていますか?
 - ・ディスプレイケーブルは、正しく接続されていますか?
 - ・ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していませんか?
 - ・ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか?
 - ・ディスプレイのブライトネス/コントラストボリュームは、正しく調節されていますか?
- ディスプレイのブライトネスボリュームは、正しく調節されていますか? [CX]
- メモリなどの周辺機器は正しく取り付けられていますか?

□ Windows の起動に時間がかかる(〔TX〕の Windows98)

- カスタムメイドオプションのグラフィックスカード変更を選択し、ネットワークを使用しない場合、Windows の起動に時間がかかることがあります。この場合は、BIOS セットアップで LAN コントローラを無効にしてください。
 - 「Advanced」 「Peripheral Configuration」 「LAN Controller」: 「Disabled」

□マウスが使えないため、Windows を終了できない

- キーボードを使って Windows を終了させることができます。
 - 1. 【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。 「スタート」メニューが表示されます。
 - 2. 【↑】【↓】キーで終了メニューの選択、【Enter】キーで決定を行うことで Windows の 終了操作を行います。

マウスが故障している場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご 購入元に連絡してください。

□ Windows が動かなくなってしまい、電源が切れない

- 次の手順で Windows を終了させてください。
 - ・Windows XP の場合
 - 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。 Windows が強制終了されます。

POINT

- ▶ 強制終了した場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- ▶ 強制終了した場合は、ハードディスクのチェックをお勧めします(→P.104)。

- ・Windows 2000/NT の場合
 - 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

「Windows のセキュリティ」または「Windows NT のセキュリティ」ウィンドウが表示されます。

2. 「シャットダウン」をクリックします。

Windows が強制終了されます。

POINT_

- ▶ 強制終了した場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- ▶ 強制終了した場合は、ハードディスクのチェックをお勧めします (→ P.104)。
- ・Windows Me/98 の場合
 - 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
 「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「シャットダウン」をクリックします。

Windows が強制終了します。

もし上記の操作で強制終了できないときは、電源スイッチを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れてください。

POINT

- ▶ 強制終了した場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- ▶ 強制終了した場合は、ハードディスクのチェックをお勧めします(→P.104)。

4 OS・アプリケーション関連のトラブル

□ Windows が起動しなくなった

- 周辺機器を取り付けませんでしたか? いったん周辺機器を取り外し、Windows が起動するか確認してください (→ P.87)。 もし起動するようであれば、周辺機器の取り付け方法が正しいか、もう一度確認してくだ さい
- Safe モード/ VGA モードで起動できますか? いったん Safe モードまたは VGA モードで起動し $(\rightarrow P.88)$ 、問題を解決(ドライバの再インストールなど)してください。
- ●「ドライバーズCD」に入っているQT-PC/Uという診断プログラムでパソコンの診断をしてください $(\rightarrow P.92)$ 。

QT-PC/U でエラーが発生しなかった場合は、リカバリを行い、本パソコンをご購入時の状態に戻してください (→『取扱説明書』)。

それでも解決しない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● Windowsを正常に終了できなかった場合、次回起動時に自動的にセーフモードになり、「キーボードの選択」画面が表示されることがあります。この場合、そのままセーフモードで起動し、起動が完了したら本パソコンを再起動してください。

□ 画面が青くなり、エラーメッセージが表示された(Windows Me/98)

● プログラム使用中に画面が青くなり、「例外 XX が XXXX:XXXXXXXX で発生しました。現在のアプリケーションを終了します。」と表示された場合は、画面の指示に従って何かキーを押すか、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。

□プログラムが動かなくなってしまった

- 次の手順でプログラムを終了させてください。
 - ・Windows XP の場合
 - 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 動かなくなったプログラムを選択し、「タスクの終了」をクリックします。 プログラムが強制終了されます。
 - 3.「Windows タスクマネージャ」ウィンドウを閉じます。

POINT_

- ▶ プログラムを強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- ▶ プログラムを強制終了した場合は、ハードディスクのチェックをお勧めします(→ P.104)。
- ・Windows 2000/NT の場合
 - 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
 「Windows のセキュリティ」または「Windows NT のセキュリティ」ウィンドウが表示されます。

- 2. 「タスクマネージャ」をクリックします。
 - 「Windows タスクマネージャ」または「Windows NT タスクマネージャ」ウィンドウ が表示されます。
- 3. 動かなくなったプログラムを選択し、「タスクの終了」をクリックします。 プログラムが強制終了されます。
- 4. 「Windows タスクマネージャ」または「Windows NT タスクマネージャ」ウィンドウを閉じます。

POINT

- ▶ プログラムを強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- プログラムを強制終了した場合は、ハードディスクのチェックをお勧めします(→P.104)。
- ・Windows Me/98 の場合
 - 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。 「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。
 - 動かなくなったプログラムを選択し、「終了」をクリックします。 プログラムが強制終了します。 上記の操作で強制終了できないときは、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押す操作

を2回繰り返して、Windows を強制的に再起動してください。 この方法で再起動できないときは、電源スイッチを4秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れてください。

POINT

- ▶ プログラムを強制終了したり、本パソコンを強制的に再起動したり、強制的に電源を切ったりした場合には、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- プログラムを強制終了したり、本パソコンを強制的に再起動したり、強制的に電源を切ったりした場合は、ハードディスクのチェックをお勧めします(→P.104)。

□省電力機能が実行されない

- ●「コントロールパネル」や BIOS の設定を確認してください。 省電力機能の詳細については、「機能」 - 「省電力」(→ P.38) をご覧ください。
- □「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブで、緑色のクエスチョンマーク(?)がついている項目がある(Windows Me)
- OS 標準のドライバが使用されている場合に表示されます。そのままお使いいただいて問題 はありません。
- □「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」で「ユーザーの簡易切り替えを 使用する」が選択できない(Windows XP)
- ●「ユーザーの簡易切り替え」機能を使用するためには、128MB以上のメモリ(ビデオメモリとして使用される分は除く)が必要です。必要に応じて、メモリを増設してください。
- □ 新しくアプリケーションをインストールした後、他のアプリケーションを実行中 にアプリケーションエラーが発生するようになった(Windows 98)
- アプリケーションのインストール時に追加された MFC ライブラリに問題がある場合があります。「ソフトウェア」 「ソフトウェアライブラリ (Windows 98)」 (\rightarrow P.60) をご覧になり、ソフトウェアライブラリをアップデートしてください。

□アプリケーションのインストールが正常に行われない

● ウイルス検索ソフトを起動している場合、その影響が考えられます。 ウイルス検索ソフトを終了させ、アプリケーションのインストールができるか試してくだ さい。

ウイルス検索ソフトを終了させてもインストールが正常に行われないときは、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

□ フォントのインストールができない (Windows Me/98)

ullet FM 一発修正を使用してください (\to P.93)。

□ Office XP でオブジェクトの挿入で挿入した JPEG が正しく表示されない

● Office XP の修復を実行してください。操作方法については、Office XP に添付の『セットアップガイド』をご覧ください。

5 ハードウェア関連のトラブル

BIOS

□ 管理者用パスワードを忘れてしまった

管理者用パスワードを忘れると、BIOS セットアップを管理者権限で起動することができなくなり、項目の変更やパスワード解除ができなくなります。この場合は、修理が必要となりますので「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。

内蔵 LAN

□ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか? パソコン本体との接続、ハブとの接続を確認してください。
- ネットワークケーブルに関して次の項目を確認してください。
 - ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか?
 - ・100Mbps で通信している場合、カテゴリ 5 のケーブルを使用してください。
- 内蔵 LAN に関して次の項目を確認してください。
 - ・ハードウェアの競合が起こっていませんか? $(\rightarrow P.90)$
 - ・LAN ドライバは正しくインストールされていますか? 必要に応じて、「ソフトウェア」 「ドライバ」 (\rightarrow P.80) をご覧になり、再インストールしてください。
- TCP/IP プロトコルをお使いの場合は、Ping コマンドを使ってネットワークに接続できているか確認してしてください。

POINT

- ▶ [TX] [SL] [CL] [CX] の Windows NT の場合、LAN ドライバをインストールすると、「コントロールパネル」ウィンドウに「Intel PROSet II」アイコンが登録されますが、この診断機能はお使いになれません。
- ハブに関して次の項目を確認してください。
 - ・電源は入っていますか?
 - ・ACT/LNK ランプは点灯していますか?
 - Speed (100Mbps/10Mbps/Auto)、Duplex (Full/Half/Auto) の設定は、パソコン側の設定と合っていますか?
- Windowsのセットアップ時に入力したコンピュータ名は、TCP/IPプロトコルのホスト名に反映されていますか? (Windows NT)
 - Windows のセットアップ時に入力したコンピュータ名が、TCP/IP プロトコルのホスト名に 反映されない場合があります。この場合は、ホスト名を設定してください。

□ネットワークリソースに接続できない

各種サーバーに接続できない場合は、ネットワーク管理者に原因を確認してください。一般的 に、次の点を確認します。

- ◆ お使いのネットワークに適したコンポーネント(クライアント/サービス/プロトコル)をインストールしていますか?
- 各コンポーネントの設定は、正しいですか?
- サーバーにアクセスするためのユーザー名やパスワードは正しいですか?
- サーバーにアクセスする権限を与えられていますか?
- サーバーがなんらかの理由で停止していませんか?

□ ネットワークプロトコルが追加できない (Windows Me/98)

● FM 一発修正を使用してください (→ P.93)。

□ ネットワークに接続しないで本パソコンを使用したい(Windows NT)

TCP/IP プロトコルを使用し、「DHCP サーバから IP アドレスを取得する」を設定した状態(ご購入時の設定)で、ネットワークに接続せずに本パソコンを使用する場合は、次の操作を行ってください。

「DHCPサーバからIPアドレスを取得する」から「IPアドレスを指定する」へ設定を変更します。 次の手順に従って設定を変更してください。

- 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。 「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- 3. 「プロトコル」タブをクリックし、「TCP/IP プロトコル」を選択して、「プロパティ」を クリックします。

「Microsoft TCP/IP のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 4. 「IP アドレス」タブで「IP アドレスを指定する」をクリックし、「IP アドレス」「サブネットアドレス」を入力します。
- 5.「OK」をクリックします。 「ネットワーク」ウィンドウが表示されます。
- 6. 「OK」をクリックします。
- 7. 本パソコンを再起動します。

% 重要

- ▶ 「IP アドレスを指定する」が指定されている場合は、本設定を行う必要はありません。
- ▶ 設定を変更した後、再度 DHCP を使用してネットワークに接続する場合は、次の手順を行ってください。
 - 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
 「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
 - 3. 「プロトコル」タブをクリックし、「TCP/IP プロトコル」を選択して、「プロパティ」 をクリックします。

「Microsoft TCP/IP のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 4. 「IP アドレス」 タブで「DHCP サーバから IP アドレスを取得する」 をクリックします。
- 5.「DHCP を有効にしますか?」と表示されたら、「はい」をクリックします。
- 「OK」をクリックします。
 「ネットワーク」ウィンドウが表示されます。
- 7. 「OK」をクリックします。
- 8. 本パソコンを再起動します。

続いて、BIOS セットアップで内蔵 LAN を無効に設定します。 「BIOS」をご覧になり、内蔵 LAN が機能しない設定に変更してください。

廖重要

▶ 再度ネットワークに接続して使用する場合は、BIOS セットアップの項目を元の設定に戻してください。

再び、ネットワークに接続して使用する場合は、元の設定に戻してから使用してください。 設定を行わずに起動すると、次のような現象が起こる場合があります。

- 起動時に一部動作が遅くなる
- 「DHCP クライアントは IP アドレスを取得できませんでした」とメッセージが表示される

□ (TX) (Windows XP モデル) について

[TX] (Windows XP モデル)のLAN ドライバを、下記の手順でアップデートすることができます。インストール前に管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

- **1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- **3** 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。 「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- **4** 「ネットワークアダプタ」ー「Intel(R) PRO/100 VM Network Connection」の順にダブルクリックします。
- **5** 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックします。
- **6** 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 7 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」クリックし、「次へ」をクリックします。
- **8** 「ディスク使用」をクリックします。
- ¶ 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力して、「OK」をクリックします。
 「CD-ROMドライブ]:¥Ian¥i8255x¥xp
- **10** モデルから次の項目を選択し、「次へ」をクリックします。
 - Intel(R) PRO/100 VM Network Connection
- **11** 「完了」をクリックします。

ハードディスク

□ハードディスクが使えない

● エラーメッセージは出ていませんか? 「BIOS」 - 「BIOS が表示するメッセージー覧」をご覧ください。

□ 頻繁にフリーズするなど動作が不安定

- 次の手順でハードディスクのチェックを行ってください。
 - ・Windows XP/2000/NT の場合
 - 1. 実行中のプログラムをすべて終了します。
 - 2. Windows XP では、「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。 Windows 2000/NT では、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
 - 3. プログラムをインストールしてあるディスクを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
 - 4. 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
 - 5. 「チェックディスクのオプション」内の項目をチェックし、「開始」をクリックします。「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」をチェックして C ドライブを検査する場合は、「次回のコンピュータの再起動時に、このディスクの検査を実行しますか?」または「次回のシステム再起動時に、このディスクの検査をスケジュールしますか?」と表示されます。「はい」をクリックすると、次回 Windows 起動時にエラーのチェックが行われます。それ以外の場合は、ディスクのチェックが開始されます。終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されます。
 - 6. 「OK」をクリックします。

修復してもトラブルが頻繁に発生する場合は、リカバリしてください(→『取扱説明書』)。

・Windows Me/98 の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」の順にクリックしてください。

スキャンディスクを実行した結果、エラーがない場合はそのままお使いください。エラーが表示されたときは、メッセージに従って修復してください。ただし、修復してもトラブルが発生する可能性があります。トラブルが頻繁に発生する場合は、リカバリしてください (→『取扱説明書』)。

□ NTFS 区画のドライブに CHKDSK コマンドを実行すると、エラーメッセージが表示される(Windows 2000)

- 次の手順で CHKDSK コマンドを行ってください。
 - 1. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
 - 2. プロンプトから次のように入力し、【Enter】キーを押します。

chkdsk /f [NTFS区画のドライブ]

この手順を行った後は、オプションなしの CHKDSK コマンドを実行してもエラーメッセージは表示されません。

なお、ハードディスクのチェックは、CHKDSK コマンドではなく、ディスクのプロパティの「ツール」タブから行うことをお勧めします。

CD-ROM

□ CD からデータの読み出しができない

- ◆ CD が正しくセットされていますか?◆ CD の表裏を間違えないよう、正しくセットしてください。
- ◆ CD が汚れていたり、水滴がついたりしていませんか?汚れたり水滴がついたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
- ◆ CD が傷ついていたり、極端に反っていたりしませんか?◆ CD を交換してください。
- 規格外のCDを使用していませんか?
 規格に合ったCDをお使いください。

□ CD が取り出せない

● パソコン本体は動作状態になっていますか?

本パソコンの内蔵 CD-ROM ドライブは電子ロックのため、パソコン本体が動作状態の場合のみ CD のセット/取り出しが可能です。

なお、なんらかの原因でトレーが出ない場合は、「マイコンピュータ」ウィンドウの CD-ROM アイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックしてください。それでも出ない場合は、内蔵 CD-ROM ドライブユニット前面の CD-ROM 取り出しボタン横にある穴を、曲がりにくい針金(大きなクリップをのばしたものなど)でつついてください。

■ MS-DOS モードで CD-ROM が利用できない (Windows 98)

● ご購入時はドライバがインストールされていないため、MS-DOSモードでCD-ROMを使用できません。

次の手順でドライバをインストールしてください。

POINT

- ▶ 設定を行う場合には、次の作業以外は行わないでください。他の作業を行うと、Windows が正常に起動しなくなることがあります。
- 1. エディタ (メモ帳) などで C:\(\fomale Config.sys\) を開き、次の行の「REM 」を削除します。 REM DEVICE=C:\(\fomale REALMODE\(\fomale OAKCDROM.\) SYS /D:OEMCD001

DEVICE=C:\frac{1}{2}REALMODE\frac{1}{2}OAKCDROM.\text{ SYS } \tag{D:0EMCD001}

2. 次の行がない場合は、最後の行に追加して保存します。

lastdrive=z

3. エディタ (メモ帳) などで C:\{\text{Windows}\}\Dosstart.bat を開き、次の行の「REM 」を削除して保存します。

REM MSCDEX. EXE /D:0EMCD001 /L:E
↓

MSCDEX.EXE /D:OEMCDOO1 /L:E

 $(\lceil/L:E\mid o \mid E\mid ct CD-ROM ドライブ名が入ります。)$

4. 本パソコンを再起動します。

POINT_

▶ 別途 CD-ROM ドライブを購入された場合は、必要に応じて上記の2つのファイルの該当部分(CD-ROM ドライバ名)をご購入の CD-ROM ドライバに変更してください。また、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に関しても同様に変更が必要になる場合があります。 CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合は、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライバをコピーし、Config.sys の CD-ROM ドライバ名と Autoexec.bat のドライブ名を変更してください。

フロッピーディスク

□フロッピーディスクが使えない

- ディスクは正しくセットされていますか?ディスクのシャッタのある側から、カシャッと音がするまでしっかりと差し込みます。
- ディスクはフォーマットしてありますか?ディスクをフォーマットしてください。
- BIOS セットアップの項目を正しく設定していますか? (→ 「BIOS」)
- ディスクが書き込み禁止になっていませんか? ディスクの書き込み禁止タブを書き込み可能な位置にしてください。
- 別のディスクは使用できますか? 別のディスクが使用できる場合、使用できないディスクは壊れている可能性があります。
- フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れていませんか?
 クリーニングフロッピーディスクでヘッドの汚れを落としてください(→「ハードウェア」ー「フロッピーディスクドライブのお手入れ」)。

光磁気ディスク

□ [CX] で光磁気ディスクを使用したい

● PC カード (SCSI) 接続の光磁気ディスクドライブを使用できます。

□ 光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用したい

● 光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー 形式でフォーマットするには、光磁気ディスク・ユーティリティを使用してください。詳 細については、「ソフトウェア」 — 「ソフトウェア一覧」 (→ P.61) をご覧ください。使用 方法については、「ドライバーズ CD」の「¥Other¥Mo」内の各 OS フォルダ内にある readme.txt をご覧ください。

PC カード

□ PC カードが使えない

- PC カードスロットに正しくセットされていますか?PC カードが正しくセットされているか確認してください。
- 16bit対応のPCカードの場合、カードによってはPCカードが使うIRQを予約する必要があります。

PC カードのマニュアルをご覧ください。また、[CX] は、[BIOS] - 「メニュー詳細」もご覧ください。

- PC カードのドライバはインストールされていますか? Windows にあらかじめ登録されていない PC カードの場合は、PC カードに添付されているドライバ(各 OS に対応したもの)をインストールする必要があります。PC カードに添付
- IRQ リソースは足りていますか?IRO リソースが不足する場合があります。次の操作を行ってください。
 - ・Windows XP/2000 の場合

のマニュアルをご覧ください。

- 1. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
- 2. Windows XP では、「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」アイコン を右クリックして「プロパティ」をクリックします。

Windows 2000 では、「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。 「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 4. お使いにならないデバイス (プリンタなら「ポート (COM と LPT)」など) をダブ ルクリックします。
- 5. お使いにならないデバイス名 (プリンタなら「プリンタポート (LPT1)」) を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 6.「全般」タブの「デバイスの使用状況」を「このデバイスを使わない(無効)」に設 定します。
- 7. 「OK」をクリックします。
- 8. すべてのウィンドウを閉じます。
- ・Windows Me/98 の場合
 - 1. お使いにならないデバイス(プリンタなら「パラレルポート」など)を BIOS セット アップで「無効」にします (\rightarrow 「BIOS」)。
 - 2. 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 3.「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
 - 4. お使いにならないデバイス (プリンタなら「ポート (COM と LPT)」または「ポート (COM/LPT)」) をダブルクリックします。
 - 5. お使いにならないデバイス名 (プリンタなら「プリンタポート (LPT1)」) を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
 - 6.「全般」タブの「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をチェックします。
 - 7. ウィンドウを閉じます。

SCSI カード

□ SCSI カードを使用して SCSI 装置を接続したが、Windows から認識できない

- SCSIカードのドライバはインストールされていますか?次の手順に従って確認してください。
 - ・Windows XP/2000 の場合
 - 1. Windows XP では、「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」アイコン を右クリックして「プロパティ」をクリックします。

Windows 2000 では、「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2. 「ハードウェア」タブをクリックします。
- 3.「デバイスマネージャ」をクリックし、SCSI コントローラが登録されているか確認 します。

登録されていない場合、「ハードウェア」タブの「ハードウェアの追加ウィザード」または「ハードウェアウィザード」をクリックし、SCSIカードの検出とドライバのインストールを行ってください。

- ・Windows NT の場合
 - 1. 「コントロールパネル」ウィンドウの「SCSI アダプタ」アイコンをダブルクリック し、SCSI コントローラが登録されているか確認します。

登録されていない場合、「ドライバ」タブの「追加」をクリックし SCSI カードのドライバをインストールしてください。

- ・Windows Me/98 の場合
 - 1. 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 2.「デバイスマネージャ」タブをクリックし、SCSI コントローラが登録されているか 確認します。

登録されていない場合、「コントロールパネル」 ウィンドウの「ハードウェアの追加」 アイコンをダブルクリックし、SCSI カードの検出とドライバのインストールを行っ てください。

● SCSI 装置の電源は、パソコン本体の電源を入れる前に入れましたか?パソコン本体の電源より先に SCSI 装置の電源が入っていないと、正しく認識されません。

ディスプレイ

□画面に何も表示されない

● 省電力モードが設定されていませんか?マウスを動かすか、どれかキーを押してください。

パソコン本体の電源ランプまたはスタンバイランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの高度(ACPI S3)に移行している可能性があります。パソコン本体の電源スイッチを押してください。電源スイッチを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源スイッチを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。

POINT_

- ▶ [TX] の場合、USB キーボード、USB マウス、時刻指定、LAN、モデム着信(RingIndicator 信号)、PCI 拡張カード(PME 信号)によって、スタンバイ(ACPI モード高度と標準)から復帰した場合、システムはレジュームしますが、画面が表示されません。マウスかキーボードの入力によって画面が表示されます。電源を切る前に、マウスを動かすかどれかキーを押して、パソコンの状態を確認してください。
- 「起動・終了時のトラブル」(→ P.95) もご覧ください。

□ディスプレイの表示が見にくい

- ディスプレイは見やすい角度になっていますか?ディスプレイの角度を調節してください。
- 明るさなどを調節しましたか?明るさをブライトネスボリュームで調節してください。

□表示が乱れる

- Windows の画面が正常に表示されない場合は、次の操作を行ってください。
 - ・Windows XP/2000 の場合

「ソフトウェア」 — 「ドライバ」 (\rightarrow P.80) をご覧になり、ディスプレイドライバを再インストールしてください。

Windows が起動しないときは、Safe モードで起動してからインストールを行ってください $(\rightarrow P.88)$ 。

・Windows NT の場合

「ソフトウェア」 — 「ドライバ」 (\rightarrow P.80) をご覧になり、ディスプレイドライバを再インストールしてください。

Windows が起動しないときは、VGA モードで起動してからインストールを行ってください $(\rightarrow P.88)$ 。

・Windows Me の場合

Safe モードで起動し、ディスプレイドライバを変更してください。

1. Safe モードで起動し、画面の指示に従って問題を解決します $(\rightarrow P.88)$ 。

問題が解決しないときは、「ヘルプとサポート」を終了し、次の操作を行ってください。

- 1. デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2. 「設定」タブの「詳細」をクリックします。 「(不明なデバイス) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3. 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。 「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 4.「ドライバの場所を指定する…」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 5. 「特定の場所にある…」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6. 一覧から「ディスプレイアダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 7. 「製造元」を「(標準ディスプレイ)」に、「モデル」を「標準ディスプレイアダプタ (VGA)」に設定し、「次へ」をクリックします。 「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示されます。
- 8. 「はい」をクリックします。 「デバイス用のドライバファイルの検索:」と表示されます。
- 9. 「次へ」をクリックします。

10. 「完了」をクリックします。

再起動メッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、本パソコンを再起動します。

この後、「ソフトウェア」 - 「ドライバ」(\rightarrow P.80) をご覧になり、ディスプレイドライバをインストールしてください。

POINT

- ▶ 再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示された場合は、「画面のプロパティ」ウィンドウで色数を 16 色に設定し、本パソコンを再起動してください。
- ▶ 「OK をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示された場合は、必ず 「キャンセル」をクリックしてください。
- ・Windows 98 の場合

Safe モードで起動し、ディスプレイドライバを変更してください。

- 1. Safe モードで起動します $(\rightarrow P.88)$ 。
- 2. デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3. 「設定」タブの「詳細」をクリックします。 「(不明なデバイス) のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。
 「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 5. 「次へ」をクリックします。
- 6. 「特定の場所にある…」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 7. 一覧から「ディスプレイアダプタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8. 「製造元」を「(標準ディスプレイ)」に、「モデル」を「標準 PCI グラフィックアダ プタ (VGA)」に設定し、「次へ」をクリックします。 「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示されます。
- 9. 「はい」をクリックします。 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」と表示されます。
- 10.「次へ」をクリックします。
- 11. 「完了」をクリックします。
- 12. 「閉じる」を 2 回クリックします。 「続行しますか?」と表示されます。
- 13. 「はい」をクリックします。

再起動メッセージが表示されたら、「はい」をクリックし、本パソコンを再起動します。

この後、「ソフトウェア」 — 「ドライバ」(\rightarrow P.80) をご覧になり、ディスプレイドライバをインストールしてください。

POINT

- ▶ 再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示された場合は、「画面のプロパティ」 ウィンドウで色数を 16 色に設定し、本パソコンを再起動してください。
- ▶ 「OK をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示された場合は、必ず 「キャンセル」をクリックしてください。
- アプリケーションを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、次の手順でウィンドウの再表示を行ってください。
 - 1. ウィンドウの右上にある最小化ボタンをクリックし、アプリケーションを最小化します。

2. タスクバーに最小化されたアプリケーションのボタンをクリックします。

₽ POINT

- ▶ 次のような場合に表示が乱れることがありますが、動作上は問題ありません。
 - ・Windows 起動時および画面の切り替え時
 - ・DirectX を使用した一部のアプリケーション使用時
- 近くにテレビなどの強い磁界が発生するものがありませんか?
 強い磁界が発生するものは、ディスプレイやパソコン本体から離して置いてください(→P.84)。

□画面の両サイドが欠ける

● 使用しているディスプレイの調整ボタンで、水平画面サイズの調整を行ってください。

□ リカバリまたは再インストール後、ディスプレイドライバをインストールし直してもディスプレイが自動的に設定されない

- 次の手順で設定し直してください。
 - ・Windows XP の場合
 - 1. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
 - 2. 「ドライバーズ CD」をセットします。

POINT_

- ▶ 「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。
- 3. デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4. 「設定」タブの「詳細設定」をクリックします。
- 5. 「モニタ」タブの「プロパティ」をクリックします。
- 6. 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。 「ハードウェアの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 7. 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 8. 「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索」のみをチェックし、 「次へ」をクリックします。
- 9. 「次へ」をクリックします。

POINT

▶ 「.. インストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。」と表示されたら、「続行」をクリックしてくだ さい。

「ハードウェアの更新ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

- 10. 「完了」をクリックします。
- 11. すべてのウィンドウを閉じます。
- ・Windows 2000 の場合
 - 1. 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンします。
 - 2. 「ドライバーズ CD」をセットします。

- 3. デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4. 「設定」タブの「詳細」をクリックします。
- 5. 「モニタ」タブの「プロパティ」をクリックします。
- 6. 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 7. 「次へ」をクリックします。
- 8.「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックし、「次へ」をクリック します。
- 9.「CD-ROM ドライブ」のみをチェックし、「次へ」をクリックします。
- 10.「次へ」をクリックします。

POINT

- ▶「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されたら、「はい」をクリックしてください。 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。
- 11. 「完了」をクリックします。
- 12. すべてのウィンドウを閉じます。
- ・Windows Me/98 の場合
 - 1. デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「設定」タブの「詳細」をクリックします。
 - 3. 「モニタ」タブの「変更」をクリックします。 後は次のポイントをご覧になり、メッセージに従って操作してください。

POINT

- ▶ Windows Me の場合、「デバイスドライバの更新ウィザード」では、「ドライバの場所を指定する…」 「特定の場所にある…」の順に進めてください。
- ▶ Windows 98 の場合、「デバイスドライバの更新ウィザード」では、「特定の場所にある …」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。
- ▶ 富士通製ディスプレイのモデル名がモデル一覧にない場合は、次の操作を行ってください。 1.「ドライバーズ CD」をセットします。
 - 2. 「ディスク使用」をクリックします。
 - 3.「参照」をクリックし、「ドライバーズ CD」の「¥inf¥monitor」内の各 OS のフォルダにある「disk1」または「disk2」を選択します。

Windows 98 で富士通製 USB 対応ディスプレイをお使いの場合は、「配布ファイルの コピー元」に次のように入力してください。

[CD-ROM ドライブ]:¥inf¥fjmonusb

- ▶ 「リフレッシュレート」ウィンドウが表示されたら、「OK」をクリックし、「はい」をクリックしてください。
- ▶ 解像度の設定ができなくなってしまったときは、本パソコンを再起動してください。

□ 画面の文字やウィンドウのボタンが正しく表示されない(Windows Me/98)

FM 一発修正を使用してください (→ P.93)。

サウンド

□スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

- 外付けスピーカーに関して次の項目を確認してください。
 - ・パソコン本体と正しく接続されていますか?
 - ・スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか?
 - ・スピーカーの電源スイッチは入っていますか?
 - ・音量ボリュームは正しく調節されていますか?
- OS の「音量の調整」または「ボリュームコントロール」などの設定(ミュートや音量など) を確認してください。
- 音が割れる場合は音量を小さくしてください。
- ハードウェアの競合が起こっていませんか? (→ P.90)
- サウンドドライバが正しくインストールされていますか?必要に応じて、「ソフトウェア」 「ドライバ」(→ P.80) をご覧になり、再インストールしてください。
- Windows NT の場合、サウンドドライバはプレインストールされていません。必要に応じて、「ソフトウェア」 「ドライバ」 (\rightarrow P.80) をご覧になり、インストールしてください。

キーボード

□キーボードから入力した文字が表示されない

- キーボードは正しく接続されていますか?
- カスタムメイドオプションのワイヤレスキーボードを使用している場合は、『ワイヤレスマウス/キーボード 取扱説明書』で対処方法を確認してください。

□押したキーと違う文字が入力される

- ●【NumLock】キーや【CapsLock】キーが有効になっていませんか? キーボード上のインジケータで、【NumLock】キーや【CapsLock】キーが有効になっていな いか確認してください。
- 「コントロールパネル」の「キーボード」の設定は正しいですか? 次の手順で確認してください。
 - ・Windows XP の場合
 - 1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。 「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。
 - 「キーボード」アイコンをクリックします。
 「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 4. 「ハードウェア」タブの「デバイス」で、正しい日本語キーボードが設定されている か確認します。
 - ・Windows 2000/NT/Me/98 の場合
 - 1. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。 「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
 - 2. 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。 「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3. 次のウィンドウで、正しい日本語 IME が設定されているか確認します。 Windows 2000 の場合: 「入力ロケール」タブの「インストールされている入力ロケール レ

Windows NT の場合:「言語」タブの「インストールされている言語とレイアウト」 Windows Me/98 の場合:「言語」タブの「キーボードの言語とレイアウト」

マウス

□マウスカーソルが動かない

- マウスは正しく接続されていますか?
- ・ボールやローラーなどにゴミが付いていませんか? マウス内部をクリーニングしてください。
- カスタムメイドオプションのワイヤレスマウスを使用している場合は、『ワイヤレスマウス /キーボード 取扱説明書』で対処方法を確認してください。

□マウスが使えないため、Windows を終了できない

• キーボードを使用して Windows を終了してください $(\rightarrow P.96)$ 。

プリンタ

□プリンタを使用できない

- 次の点を確認してください。
 - ・プリンタケーブルは正しく接続されていますか?
 - ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか?
 - ・プリンタの電源は入っていますか?
 - ・プリンタドライバは正しくインストールされていますか?プリンタのマニュアルをご覧 になり、再インストールしてください。
 - ・ネットワークプリンタの場合、ネットワーク管理者の指示に従って設定を行いましたか?
 - ・ネットワークプリンタの場合、ネットワーク自体へのアクセスはできていますか? $(\rightarrow P.101)$

その他

□使用中の製品に関する最新情報を知りたい

● 製品出荷後に判明した問題などの最新情報は、弊社の富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (http://www.fmworld.net/) で公開しています。必要に応じてご覧ください。

6 リカバリ/再インストール

ここでは、リカバリまたは再インストールに関する補足情報を説明します。リカバリ方法または再インストール方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

リカバリ/再インストールを実行する前に

■ 前回正常起動時の構成に戻す(Windows XP/2000/NT)

Windows XP/2000/NT の場合、前回正常起動時の構成に戻せるか確認してください $(\rightarrow P.87)$ 。

■ Safe モード/ VGA モードでの起動

Safe モードまたは VGA モードで起動できるか確認してください $(\rightarrow P.88)$ 。

■ 診断ツールでの診断

FMV 診断、OT-PC/U でハードウェアに障害が発生していないか確認してください $(\rightarrow P.92)$ 。

■ ドライバのインストール

なんらかの理由で、ドライバが正しくインストールされなかったり、正常に動作しなかったりした場合は、「ソフトウェア」 - 「ドライバ」(\rightarrow P.80)をご覧になり、ドライバを再インストールしてください。

リカバリ/再インストール後も状態が改善されない場合は

リカバリまたは再インストールを行っても状態が改善されない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元に連絡してください。

7 それでも解決できないときは

どうしても解決できない場合は、『取扱説明書』で各種窓口の連絡先をご確認のうえ、 お問い合わせください。

ここでは、『取扱説明書』に記載されていない、ソフトウェア関連の連絡先を記載しています。

ソフトウェアのお問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2002 年 5 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください。

● @nifty でインターネット

入会案内

ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター $9:00 \sim 21:00$ (※ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

電話:0120-816-042 (携帯・PHS・海外の場合:03-5753-2374)

E-mail: feedback@nifty.com

URL: http://www.nifty.com/support/madoguchi/index.htm

・テクニカルサポート/ @nifty サービス内容案内 ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター9:00~21:00 (※ビルの電源工事などによりお休

みさせていただく場合があります。)

電話: 0120-818-275 (携帯・PHS・海外の場合: 03-5753-2373)

E-mail: feedback@nifty.com

URL: http://www.nifty.com/support/madoguchi/

index.htm

Norton AntiVirus 2002

株式会社シマンテック

シマンテックテクニカルサポートセンター ただし上記サポートセンターをご利用いただく ためには以下のシマンテックホームページにて カスタマーIDの取得が必要です。

ホームページ: http://shop.symantec.co.jp/oem/fujitsu/2002/

サポートサイト: http://www.symantec.com/region/jp/support/index.html

電話: 03-3476-1118

10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日年 末年始を除く)

FAX: 03-3477-1118

Adobe Acrobat Reader 5.0

ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。 ご了承ください。

- ▼プリケーション (カスタムメイドオプション)
 各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- その他 FM シリーズの技術的なご質問・ご相談 富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口 (添付の『取扱説明書』をご覧ください)

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。

なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

索引

記号	Microsoft IME スタンダード 200261, 68 MS-IME9761, 68
@nifty でインターネット 62, 77 3 モードフロッピーディスク	N
ドライバ62,71	NTFS34
Α	0
ACPI	OS 追加プログラム62, 74
	Q
D	QT-PC/U92
DeskView	R
DMA の設定	RecordNow
F	S
Fast Check Monitoring Utility 62, 73 FAT16 33 FAT32 33	Safe モード
FDISK	U
FM-Menu 62,77 FMPBTN 62,78	URL Security アップデート プログラム
FMV 診断 62, 72, 92 FM 一発修正 62, 73, 92 FM キーガード 62, 73 I	V
	VGA モード
IDE-RAID 28, 29, 45	W
Internet Explorer 5.01 SP2 61, 67 Internet Explorer 5.5 61, 68	Windows 2000
Internet Explorer 6.0 61, 68	— Service Pack2
L	Windows 98 ツール
LAN	Windows Me
M	— Service Pack6a64
MFC ライブラリのアップデート	Windows XP Home Edition
プログラム 74 Microsoft IME2000 61, 68	Windows 環境調査ツール
Microsoft IME98	(FM Advisor)62, 70, 92 Windows 起動ディスクを作成する14

あ行	ら行
色数18	リカバリ CD-ROM 起動ディスクを 準備する
か行	
解像度18拡張 MS-DOS 領域36仮想メモリ31基本 MS-DOS 領域36休止状態38ーの留意事項39競合90	
さ行	
シャットダウン修正モジュール75修正モジュール75省電力38スタンパイ38一の留意事項39セキュリティ ロールアップ61ポッケージ61セキュリティツールキット61,65セットアップ用フロッピーディスクの15マの他の修正モジュール75ソフトウェアライブラリアップデートプログラムプログラム62,74	
た行	
電源切断ユーティリティ61, 67 ドライバーズ CD80, 81	
は行	
バックアップディスク	
ま行	
マルチモニタ機能22	

FMV-7000TX2 FMV-7000FL2 FMV-6000SL2 FMV-7000CL2 FMV-6000CL2 FMV-6000CL2s

ソフトウェアガイド B5FH-5341-01-01

発 行 日 2002 年 5 月 発行責任 富士通株式会社

- ●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- ●無断転載を禁じます。